理窓
RISOU

東京理科大学校友会〔理窓会〕会報
TUS ALUMNI JOURNAL

2022 1
No.508

葛飾キャンパス　葛飾にいじゅくみらい公園から研究棟を望む

葛飾キャンパス　薬学部新棟の基礎工事が進行中

石川学長 就任のご挨拶
新しい価値を創造するための、学びと研究の拠点であり続ける

浜本理事長　新年のご挨拶

増渕理窓会会長　新年のご挨拶

Contents

2 石川学長 就任のご挨拶
3 浜本理事長 新年のご挨拶
4 増渕会長 新年のご挨拶
5 2021HCD開催報告
7 坊っちゃん科学賞　オンライン開催報告
10 新年茶話会表彰者　坊っちゃん賞
11 薬学部創立60周年
12 関連団体・諸会だより
13 支部だより
15 卒業生だより
18 研究室紹介
20 大学トピックス
23 研究所を訪ねて
24 年賀広告

謹賀新年 あけましておめでとうございます

新しい価値を創造するための、学びと研究の拠点であり続ける

東京理科大学 学長　石川 正俊

この度、第11代学長に就任しました石川正俊です。東京理科大学はこれまで、社会に役立てる真の実力と人間性を併せ持った人材を、教育界・産業界に多く輩出してきた実績を有しています。その運営を担うことは非常に光栄であるとともに、責任の重さも自覚しています。

近年、大学教育と研究活動を取り巻く環境変化のスピードが、ますます加速しています。この急激な変化に対応するための大切な条件は、140年かけて培ってきた東京理科大学の運営基盤だと思っています。本学は日本における私学随一の理工系総合大学として、充実した教育・研究体制、優れた教員・職員の方々、国内外の他大学・研究機関・民間企業との連携、校友会とのネットワークなど、運営に係る基盤がたいへん強固です。加えて自由な学風の下、学生諸君と研究者が活き活きとして多様なテーマに取り組んでいます。これらの基盤をさらに磨き上げることで、世の中の変化を牽引するような新しい価値を生み出していけると確信しています。そもそも、「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」という建学の精神には、時代に即した新しい要素を理学に取り込んでいくのだというニュアンスが含まれており、140年前にこれを掲げた本学に深く敬意を表します。今日では、学部の改編や各種研究センターの設置といった諸施策の中に、この精神がしっかりと反映されています。そして私の使命は、建学の精神を現代的に解釈し、これからの社会に合致した新たな施策を立案・推進することだと認識しています。

理科大を起点とした新しい価値を創出し続けるために、私たちはまず、理学の概念をより広く捉える必要があります。その上で、個々の学生が設計するキャリアプランが、社会環境や研究分野の変化とともに変わっていくことを前提とした教育モデルの確立に注力していきます。今後は、個々の学生・研究者が最初に専攻した分野のみならず、隣接する複数の分野へと移行できる教育モデルが当たり前になっていくはずです。本学においても、分野ごとの垣根を越えて学生自らが変わっていける、基盤的な力が身に付くカリキュラムや制度を導入します。そのために、基礎教育の中身をバージョンアップするとともに、専門教育に関しても、すぐさま隣接分野の学問を深掘りできる実力を養成していきます。基礎教育という「横糸」と、専門教育という「縦糸」をしっかり整備しながら、以下に述べます二つの観点に立って、研究活動を強力に推進します。

ひとつは理学の基本を深掘りしながら、アナリシスによって与えられたテーマを解いていく「問題解決型の研究」です。そしてもうひとつは、“こんなモノやサービスが登場すれば、世の中はもっとおもしろく便利になるのでは?”という着想から始まる研究、いわば「まだ見ぬ価値の創造」です。ただし、価値の有無を決めるのは、研究者自身ではなく社会です。そこで研究活動の過程に、さまざまなチャンネルを通して、社会からの期待を効果的に取り込める仕組みを導入します。学外の人々から得られたさまざまな反応は、我々が次に開拓すべき技術分野や、研究対象の潜在的な価値を見出す原動力になるはずです。以上の2つを一体として捉え、双方を往来するような研究活動を、これからのスタンダードにしていきます。

理窓会を中心とする東京理科大学の卒業生は、本学と社会とのコミュニケーションを司る重要なチャネルです。同時に、現実の社会の中で生み出しておられる価値を、大学にフィードバックしてくれる大切なパートナーでもあります。だからこそ、本学とのリンクを密にしながら、社会における多様な経験やアウトプットを、ぜひキャンパスで学ぶ現役学生にも伝えていただきたいのです。そして大学側からは、これからの新しい科学技術の姿を積極的に発信していきますので、それらを社会人の視点で率直に評価していただければ幸いです。

本学のさらなる発展に向けて、理窓会会員の皆様のご支援とご協力を賜わりますよう、重ねてお願い申し上げます。

Profile

- 学歴
  - 1977年 東京大学工学部計数工学科卒業
  - 1979年 東京大学大学院工学系研究科計数工学専門課程修士課程修了
  - 1988年 工学博士(東京大学)
- 職歴
  - 1979年 通商産業省工業技術院製品科学研究所 研究員
  - 2020年 東京大学情報基盤センターデータ科学研究部門 特任教授(現在に至る)
  - 東京大学 名誉教授
- 受章等
  - 2011年 紫綬褒章
  - 2018年 立石賞特別賞
  - 2021年 市村学術賞功績賞
  - その他国内外における学会・会議の受賞多数
- 学会などにおける主な活動
  - 計測自動制御学会 会長(第50期)
  - 国際計測連合 会長(第17代)

「世界の理科大」の実現、「愛校心、誇りを抱ける大学」を目指して

学校法人東京理科大学 理事長　浜本 隆之

理窓会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年４月に新たな理事会が発足いたしました。私たち理事会の使命は、本学が創設150周年を迎える2031年、更にその先の将来にわたり、社会に貢献し必要とされる大学であり続けるため、学生、教職員等の構成員の“学び”と“教育研究”に魅力ある環境を充実させることです。

今期の理事会の活動を開始するにあたり、まず本学が目指す大学像を改めて定義いたしました。第一に、教育と研究の理科大をさらに発展させ、国内でのポジションを確かなものとした上で、「世界の理科大」の実現を目指します。

第二に、学生、教職員、同窓生等、本学の関係者全てがより一層の「愛校心、誇りを抱ける大学」を目指します。この、本学が目指す大学像に向けて取り組むべき主な課題を、以下のとおり整理しました。

【取り組むべき主な課題】

①教育研究力の向上
- 理科大の看板となり得る教育研究の重点的な推進
- 高度な教育研究を具現化するための支援体制の充実

②国際化の推進
- 学部や大学院の留学生の受け入れ促進

③優秀な学生の確保
- 入試制度の改革と高大連携の推進

④在学生への支援の強化
- 学習意欲のある学生の学業継続を支援する奨学金制度の充実
- 在学生の満足度向上に資するキャンパスアメニティの充実

⑤キャンパスの整備、再構築
- 中長期の整備計画の策定
- スマートキャンパスの実現(DX化の推進)

⑥ブランディングの強化
- 140周年記念事業の遂行
- リカレント教育の充実(“学び直し”、“働きながら学ぶ”、“生涯学ぶ”への対応)

⑦同窓生との協働
- 同窓生に関する情報収集の強化
- 同窓生、理窓会との連携の強化

教育研究、学生支援、ブランディングの強化など、解決すべき課題は多岐にわたっています。また、皆様もご案内のとおり、大学を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、本邦屈指の理工系総合大学として確固たる地位を築いている本学にとりましても、その道のりは決して容易ではありません。

一連の課題を解決し、大学改革を強力に推進するべく、この1月から、東京大学で理事・副学長・研究科長といった数々の要職を歴任されてきた石川正俊先生を学長としてお迎えいたしました。石川学長は、システム情報学の分野で長年にわたって多くの研究業績を上げられてきた高名な研究者です。また、国内外の学会の要職も数多く務められ、組織運営に係る豊富な経験をお持ちです。これから、教育や研究面で本学を力強く牽引していただけるものと大いに期待しております。今後も、新たな学長室と私たち理事会でしっかりとタッグを組み、前述の課題を解決するための施策を策定、実行することにより、さらなる大学の発展を確実なものとして参る所存です。

昨年は本学が1881年に「東京物理学講習所」として創設されてから140周年の節目にあたる記念の年でしたが、コロナ禍により、対面形式の式典もできませんでした。本学はこのような厳しい局面においても停滞することなく着実に歩みを進めており、2031年に迎える創立150周年、更にその先の未来を見据えて、新たなフェーズに移っております。現在、我々は中期計画2026を策定しているところですが、そこに示された5年後の本学の姿の実現に向けて積極的に活動して参りますので、今後もますます本学の活動にご期待くださるようお願い申し上げます。

本学が目指す姿として掲げた、「愛校心、誇りを抱ける大学」については、理窓会との協力体制が大きな土台となりますので、150周年に向けて協働して進められればと存じます。

皆様の母校である東京理科大学が、“世界の理科大”を実現し、よりよい未来の実現に一層の貢献をするべく、理事会、学長室、教職員で一丸となって努力してまいりますので、同窓の皆様におかれましても、一層のご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせて頂きます。

謹賀新年 あけましておめでとうございます

新学長をお迎えし、新たな時代へ！

東京理科大学理窓会 会長　**増渕 忠行**

昨年は、永く続くコロナ禍の中「**良き人生は日々の丹精にあり**」(大村智先生講演録)の教えのもと、副会長・常務委員の皆さんと大学の校友父母支援課のご協力により、母校と理窓会の発展の一翼を担えるよう「真心を込めて物事に取り組むこと」を念頭に励んでまいりました。

2022年元旦、石川正俊先生が新学長にご就任され、新たな時代を迎えました。理窓会は校友会として微力ではございますが東京理科大学のさらなる発展のために支援させていただきます。よろしくお願いいたします。

2021年4月から学長事務取扱の任にあたられた岡村総一郎先生には理科大のOBとして、数々の心温まるご助言やご指導をいただき、同窓生を代表して心から御礼申し上げます。

この4年間

2018年4月、石神一郎会長からバトンを受け、監査委員の監査指導を受けながら副会長・常務委員の皆様と力を合わせ、会務に専念してきましたが、ここで反省を込め、三大事業を中心にこの4年間を簡単に振り返ってみます。

代議員総会

2018・19年度は、ほぼ例年通りの総会開催となりましたが、2020年度の定時総会はコロナ禍による緊急事態宣言を受け、事務作業を一時閉鎖し、代議員の皆様に事前に了解を得て書面審議とし、いろいろご意見をいただき、事業計画や予算案等を承認していただきました。2020年11月に臨時代議員総会を開催し、会則の変更や一部修正などを、約90%の賛成で承認していただきました。主な改正点は、①代議員総会欠席者は、「議案毎に賛否票を投ずること」で出席とみなす。②役員就任時の年齢を80歳まで延長。③海外の理窓会を関連団体から独立させ、国内支部と同列に「海外支部」と位置付けたことなどです。2021年度は新会則に則り議案を承認していただきました。

ホームカミングデー(大学との共催事業)

2017年度までは、企画・実行委員会で基本計画を立て、計画・運営の詳細をイベント会社に依頼しておりました。2018年度からは「手づくり開催」とし、費用削減を目指しました。2018・19年度は廣瀬和昭・実行部会長を中心に目的を達成した開催となりました。2020年度の開催はコロナ感染防止のため中止しましたが、2021年度は「オンライン開催」を初の試みとしてチャレンジしました。大学の校友父母支援課加藤課長と企画実行部会長の山崎晃弘(副会長)を中心に事前の準備を重ね10月31日に予定通り開催することができました。おりしも衆議院選挙の投開票日と重なりましたが、大勢の方々からのアクセスがありました。詳細は本誌P5～10をご覧ください。向井千秋特任副学長・木村真一教授の特別講演はじめ近代科学資料館などの貴重な動画を含め、当日の内容を**2022年度HCDまで継続して公開** しています。

新年茶話会

歴史と伝統ある新年茶話会は、2018年度に第110回、2019年度に111回として挙行いたしました。私にとって思い出深いのは2019年に旭日中綬章を受章されたサイゼリヤ会長の正垣泰彦さん(理科大時代の4年間、同じ理学部物理学科で学んだクラスメイト)を祝えたこと。2020年度はコロナの影響でホテルでの祝賀会を中止としましたが、坊っちゃん賞を受賞された石田哲彌さんを訪ねて新潟県長岡市に赴き、記念盾をお渡しし大変喜ばれたことです。2021年度は2022年1月8日(土)にホテルで祝賀会のみ開催し、祝賀懇親会は中止します。

支部活動支援

「日本の未来は人口の一極集中を避け、地方を活性化できるかにかかる」と大村智先生も述べられておりますが、そのためには、全国から優秀な学生に東京理科大学の受験を勧めていただき、卒業後には地方で活躍し、地方の活性化にも繋がればと思い「会長短信」なるものを毎月発行し、支部長さんなどに発信しています。母校トピックスは広報課からの最新ニュースを提供していただき好評を得ています。また、海外理窓会を含めオンライン支部連絡会を定着させ、遠い支部もより身近に感じられる様になりました。

Will・Can・Must

会としてWill(やりたいこと)、Can(できること)、Must(やらねばならないこと)は何かを再整理し、それぞれの円を大きくするとともに、お互いが一つに向かい、さらに3つの円の重なりを最大化する。それが同窓会として母校発展の支援につながると思います。Covid-19によるパンデミックから2年が経過しました。2021年秋から日本国内の感染者は急激に減少していますが、海外では増加傾向のところもあります。これまでのように、気を抜かず感染防止に努め、同窓会(校友会)としての目的を再確認し、活気ある活動を目指しましょう。

2021年度東京理科大学ホームカミングデー 初めてのオンライン開催

開催の詳細はこちらから➡
https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/homecoming/

10月31日(日)に2021年度のホームカミングデーがオンライン開催されました。第15回と第16回を合わせた開催となり、理窓会関連団体や各支部の皆様からの記事や動画をインターネットで配信しました。朝9時で特設ホームページに500名を超えるアクセスがあり、正午までに1500、夕方には3000を超えるアクセス数になりました。

また、「グローバルにつながろう」のスローガンに相応しく、海外支部とのオンライン会議を含めて、海外8カ国からの参加がありました。

東京理科大学の現在の姿をご覧いただくと同時に、東京物理学講習所から始まる理科大の歴史や校舎建設時の貴重な動画なども公開され、閲覧された皆様方から大変なご好評をいただきました。これらの映像は現役の理科大生にもぜひ見てもらいたいと思います。

また、理窓会エンターテインメントやサイエンス夢工房、キッズサイエンスライブショーなど質の高い動画コンテンツをご提供いただきました。今年度は同窓生の皆様が集まって楽しむというわけにはいきませんでしたが、ホームカミングデーのホームページを作製する過程で様々な貴重な資料を得ることができました。今回のホームカミングデー特設ページは1年間ほど継続公開されます。そしてさらに内容を充実させた常設の同窓生向けホームページを公開できるよう検討を行ってまいります。次回の東京理科大学ホームカミングデーでは再び皆様に理科大のキャンパスにお集まりいただき、顔を合わせて大いに盛り上がっていただきたいと願っております。今回の開催にご協力いただきましたすべての皆様に心より御礼申し上げます。

HCD実行委員長　佐々木 健夫(理・応化1989)

2021HCD理窓会オンライン本部の役員(PORTA6F)

2021ホームカミングデー(HCD) ～オンライン開催までの軌跡～

3月の2021HCD企画委員会で策定した方針を受け、4月のHCD企画実行委員会から実施可能なオンライン2021HCDの全体構想をまとめる活動が始まりました。

オンライン開催方法として、理窓会ホームページ(HP)にHCD用特設サイトを設け、そのなかで視聴できるイベントサイト(チャンネル)は動画(録画)を主体としました。これにはセキュリティ検討会で慎重な審議も行いました。

一方、イベントの進め方は、参加する団体をグループごとにまとめた分科会〈大学関連・理窓会支部・海外支部・理窓会エンターテインメント・理窓会関連団体の5グループ〉と、参加する団体(部会)が集まる全体部会に分け、分科会形式としました。コロナ禍から、会議は全てオンラインで開催しました。

5月に開催した第1回全体部会では、理窓会HPの特設サイトによるオンライン開催方法と分科会形式によるイベントの進め方について、2021HCDの全体構想の概要を説明しました。その後9月まで、今回が初めてのYouTubeによる特設サイト設置は専門の制作会社に依頼し、特設サイトのチャンネル制作に長い時間を費やしました。特にチャンネル原稿は初稿から校了まで修正や変更には配慮が必要でした。

10月初めに最終分科会を行い、最終確認を行うとともに、諸々の対応に備えるため開催当日31日は、HCD本部を理窓会倶楽部に設置することにし、最終仕上げを怠りなく行い開催日を待ちました。

2021年10月31日(日)初のHCDオンライン開催に期待と不安を抱きながらも、開催当日には大きなトラブルもなく、滞りなく無事に終了することができました。ここに、関係各位の並々ならぬ努力の成果として受け止め、感謝申し上げる次第です。さて、理窓会HPの特設サイトでは、特に注目された140周年記念特別講演会をはじめ、イベントの数々は東京理科大学や理窓会にとって貴重な財産でもあるので、一年を通して視聴できるよう公開期間を継続しました(一部割愛や変更があります)。

さあ、来年度に向けてHCD企画実行部会は新たな挑戦を胸に、また長い道のりを歩き始めます。関係各位にはまたご負担をかけます。ご容赦を。

HCD企画実行部会長　山崎 晃弘(理工・建1976)

TUSミュージアム映像おススメコンテンツ
『受け継がれる理科大DNA』
鼎談
近代科学資料館長 秋山 仁 × 学生

「学びたいから理科大に来た」「多くの周りの学生がこの厳しいノルマをやっているので、刺激になった」「大学時代にやらなければならないことがたくさんあるが、それをやるからこそ、粘り強く、真面目で、物事を遂行する責任感ができる」「個人を高めるための実力主義は必要ではないか」など。

インタビューの日、同席したのですが、2人の現役学生の言葉を驚きながら聞き入りました。理科大の実力主義にエビデンスを与えてくれた学生達の素直な意見に、日本もそして理科大も未来が明るいなと思うのは私だけでしょうか。

インタビューの構成は、学報『TUS Journal』140周年記念号の特別インタビュー記事のために広報課が練ったものです。140周年にふさわしい内容についてライターらと幾度も話し合われ、鼎談のテーマは決められました。そして事前の質問事項に対して、想定をしていなかった学生達の素直な気持ちを聞くことができ、秀逸なインタビュー映像となりました。①理科大のDNA ②理科大の実力主義 ③科学的精神とは ④理科大の起源 ⑤理科大の創立の時代背景 ⑥「国恩に報いる」の6パート

なお、掲載する写真撮影がメインでしたので、最初のパートでは多くのフラッシュ音が入り、少々お聞き苦しいかもしれませんが、この臨場感も悪くないなと気に入っています。また、快くこの企画の撮影を同時進行で行うことを承諾してくれた学報担当や30分以内を目指し、長かった元映像のカットを繰り返してくれた映像・編集担当など沢山の同僚たちに感謝です。多くの偶然的な協力が重なり、永久保存版にしたい『受け継がれる理科大のDNA』-近代科学資料館長秋山仁と学生の鼎談-の映像ができました。みなさまお時間あるとき、または電車の中やちょっとした息抜きの時間に気軽にご視聴ください。

2021年HCD
理窓会エンターテイメントご紹介

今回、オンライン配信ということで理科大を卒業して芸能界で活躍する理窓メンバー3名にお声がけしたところ皆さん快く協力いただけることとなりました。

ライブ演芸がメインの桂歌助師匠とライブステージが主な活動の祥子さんには普段であればパフォーマンス会場としてご利用いただくPORTA神楽坂で撮影をさせていただきました。また演者としてHCD初参加の鬼武みゆきさんは生ピアノ演奏を前提とされておられるためPORTA神楽坂では演奏ができない中でしたが動画配信のメリットを活かし普通では入ることのできないレコーディングスタジオでの演奏動画の収録を企画いただき3名それぞれ普段のライブとは違う作品にまとまりました。

桂歌助師匠にはお客様の見えない中でしたが普段のライブ演芸とは違った複数のカメラ視点で皆様にお楽しみいただけるように編集しました。

祥子さんは歌はもちろんギター・二胡演奏の芳晴さん、ギター演奏のマークイーストさんとの曲間の掛け合いもライブ同様に楽しんでいただけます。

鬼武みゆきさんの演奏は普段の客席では見られない視点からの演奏を楽しんでいただきながら鬼武みゆきさんが曲に合わせて福島の写真を選んでおります。その光景をイメージしながら是非視聴ください。

今回3名の動画はYouTubeを大画面テレビとオーディオに接続いただきダイナミックに臨場感をもってお楽しみいただけることを目指して制作いたしました。HCDでのライブ演芸、パフォーマンスに劣らない内容で何度でもお楽しみいただける3名からのメッセージとなっております。

第12回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト（高校部門）
11月14日（日）オンラインによるコンテストが行われる

1 コンテストまでの経緯

昨年、坊っちゃん科学賞研究論文コンテストはコロナ禍の中で開催できなかったが、今年は協議の結果オンライン形式のコンテストをホームカミングデーとは別の日（11月14日）に開催することにした。

全国の高等学校に開催要項を発送し応募を募ったところ、次のような応募結果となった。

分野	物理	化学	生物	地学	数学	情報他	計
応募数	47	48	48	9	25	6	183

オンライン形式のコンテストにしたことで、これまでより応募数が減ると思われたが、前回開催とほぼ同数の応募となり、オンライン形式の開催であっても、本コンテストを重視し応募する高等学校が多いことが分かった。

第5波のコロナ禍による緊急態宣言が発出されている中で密を避けるため審査会場を2倍に増やし、9月11日（土）に同窓の中学・高校の教育関係者による分野別審査会が行われた。さらに総合審査会は、コロナ禍のため一堂に会する方法はとらず、大学の各先生方に分野別審査で選ばれた論文を送付し、評価していただいた。この結果を坊っちゃん科学賞事務局で集約し、5校の論文を優秀賞候補として選出した。

コンテストは、この5校によるオンライン動画発表を最終審査し、最優秀賞（坊っちゃん科学賞）の受賞校を選出することにした。

2 コンテスト

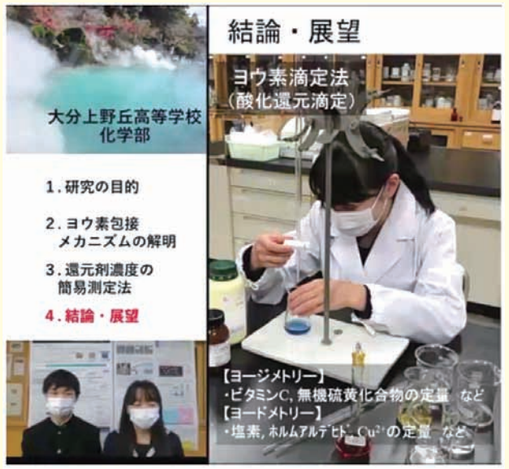
コンテストはPORTA神楽坂7階第二会議室をオンライン本部会場とし、次の時程で開催された。

13:00 コンテストの進め方説明
13:05 コンテスト開会挨拶、審査委員紹介
13:15 研究論文発表開始
　各校（準備2分、発表10分、質疑応答5分）
14:40 審査会
　（この間、大学を代表して岡村総一郎学長事務取扱より挨拶と理科大の紹介ビデオ上映があった）
15:30 コンテストの結果発表
　審査結果発表・講評 秋山 仁 審査委員長
15:50 閉会の挨拶・諸連絡
16:00 コンテスト終了

3 コンテストの結果

◎最優秀賞

ヨウ素包接デンプンを用いた還元剤濃度の簡易測定法
大分県立大分上野丘高等学校



◎優秀賞

玩具“ぶんぶんゼミ”が発生する音の解析
～セミの鳴き声により近づけるための検討～
東京工業大学附属科学技術高等学校

骨伝導イヤホンの研究
茨城県立水戸第二高等学校

サンカヨウはなぜ濡れるとき透明になるのか
岐阜県立加茂高等学校

2次方程式の解の分布曲線
明治大学付属明治高等学校

4 コンテストを終えて

最優秀賞校に大分県立大分上野丘高等学校が選出された。10分間という動画のオンラインによる研究発表会であったが、上記5校とも創意工夫され作成された動画であった。指導に携わられた顧問の先生方や生徒の皆さんの努力が実感できた。オンライン発表会に携わった私達実行委員会も全てが初めての経験であり、困難を極めたが総力を挙げての取り組みとなった。参加校の先生方・生徒諸君に敬意と感謝を申し上げると共に、審査等でご指導をいただいた理科大の先生方に御礼申し上げます。

※今回のコンテストの様子は、動画でご覧になれます。
是非、下記のURLまたはQRコードよりご覧ください。
理窓会ホームページからもご覧になれます。
https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/botchan-science/12431.html

全国の支部長が集い、オンラインHCDを祝う!

ー第2回全国支部長連絡会議報告(11/7)ー

1. 全国支部から参加者43名

今年度の全国支部長連絡会議は、2回目となりました。前回は、6月にブロック別の会議を開催しましたが、今回は、全国の支部長や代理の皆さんが一同に参加する会議を開催しました。開催にあたっては、スムーズな運営を行うために、Googleフォームを使用して会議の参加申込みや集計などが簡単にできるようにしました。その結果、開催案内を送信して3日目で、27支部の支部長が参加登録をしてくださいました。開催当日の参加者は、35支部の支部長及び代理の皆様、関西連合会長、静岡支部東部、遠州の各会長と本部役員等を合わせますと43名となりました。

2. ブレイクアウトルームで全国支部の連携深める

本会議では下記の内容の通り、各支部長等の皆様からオンラインホームカミングデー(HCD)をご覧になっての感想や各支部の活動報告などがあり、会議後は、地酒などを飲みながらの懇親会を行いました。

会議では、HCDに支部活動の動画を提供してくださった茨城、神奈川、三重の支部長やHCDに支部総会を開催した信州の支部長から、次回HCDに向けての貴重な報告をしていただきました。さらに、京都の支部長には、HCDの特設サイトのアクセス数を分析していただきました。

特に、ブレイクアウトルーム(BOR)が大好評でした。そこでは、各支部長5名がグループとなり、HCDに対する感想や支部の現状等を話し合いました。懇親会では、地酒でHCDの大成功を祈念して祝杯を交わしました。その後もBORで地酒の紹介や支部関連の情報交換をするなど、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

今後は、オンラインを通して、国内外支部の皆様との連携を深めるとともに、日本の理窓会から世界の理窓会を目指してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

企画実施担当 槇 誠司 常務委員

Zoomのスクリーンショットから一部抜粋

(関連団体)活動紹介ムービーづくりの裏ばなし

今回、多くの関連団体からの参加をいただきましたが、14の団体からは活動を紹介するムービーの「出展」がありました。そのなかから3団体の制作裏話をご紹介します。

◇関東学生テニスリーグ3部への挑戦 **理庭会(東京理科大学I部体育局硬式庭球部OB・OG会)**

ビデオでは、関東学生テニスリーグを中心に、皆様に分かりやすくするために、箱根駅伝を例にして、部の現状をご説明しました。1部6校で4部3位ですので、正確には、現在21位です。庭球部としては、薬学・理工系の大学を中心とした、関東理工系リーグにも参加していますが男女とも1部で概ね優勝しています。男子は、昭和35年の創部以来60年間、2部に降格した事はありません。リーグ戦は、ダブルス3試合・シングル6試合の計9試合で構成されていますので、5勝した大学が勝利ということになります。

学生スポーツでは、4年間で全メンバーが変わって行きます。そのため、有望な新入生の確保が重要になりますが、スポーツ推薦のない理科大としては少しでも露出度を増やし、理科大に入ってテニスをしようという高校生を一人でも多くしたいと思っています。従って、ムービーはOBの方々への現状報告だけでなく、一人でも多くの高校生にビデオを観て頂こうと考えて作成いたしました。

◇動画編集について(雑感) **理窓ビジネス同友会**

オンライン形式でのHCDに参加するかどうか、役員会でずいぶん議論しました。どちらかと言えば否定的な意見が多かったように思います。そういう議論の中から「会員が所属する企業の紹介動画」というアイデアが生まれました。いくつかの企業からコンテンツを提供いただき、それを編集し繋ぎ合わせる、という発想です。

提供いただいた動画は長さ、解像度などがバラバラでした。特に長さが問題でした。目安として1企業3分程度にまとめようとしました。例えばもともと20分の動画であれば17分をカットしなければなりません。企業が紹介したい箇所と視聴者が関心を持ちそうな箇所のバランスを考え編集しましたが、提供元の企業に対する責任もありますし、悶え、苦しみながらの編集作業となりました。

このように七転八倒しながらも何とか動画が完成しました。多くの皆さまにご覧いただけたら幸いです。今後とも「理窓ビジネス同友会」をよろしくお願いいたします。

◇最近の神楽坂まち歩き **築理会(東京理科大学工学部建築学科同窓会)**

築理会は1971年に発足し、現在の会員は8000人を越えました。会員相互の交流を活発化、会員活動を支援し〈理科大建築〉のプレゼンス拡大、建築学科と連携して教育に貢献を目的として活動しています。

今回の企画は卒業生には懐かしい「最近の神楽坂まち歩き」と題した3部作。神楽坂キャンパスを経験した世代と経験していない世代が、それぞれ足を運んで取材した最近の神楽坂の写真を持ち寄りました。今と昔の神楽坂の変化、注目スポットについてZoomでディスカッションしています。建築を学んだ眼差しは節穴ではないと自負していますが、どなたにも楽しんでいただける内容にまとめてみました。いかがでしょうか。

「神楽坂ぶらっと散策編」:赤城神社から飯田橋駅から九段下まで。寄り道をお楽しみください。「神楽坂おもいで探し編」:思い出の店、風景、街。知っているようで知らない、神楽坂を探ります。「神楽坂こだわり編」:神楽坂ならではの魅力探索。切れ味のいいデザインを訪ねる旅です。

海外支部オンライン交流会報告10/31

2021HCDにて、海外理窓会支部オンライン交流会をグローバル理窓会 (大谷会長) が主催した。「グローバルなネットワークでつながろう」のテーマに相応しく、6支部の参加を頂きました。

国内参加者

〈理窓会本部〉
増渕会長、近藤
〈グローバル理窓会〉
大谷、坂本、池田、小山、山北(海外担当事務局)

増渕理窓会会長

大谷グローバル理窓会会長

北加理窓会 熊谷副会長

シリコンバレーとサンフランシスコ在住の方で約40名の会員がおり、理大卒業生は100名ほどいると思われます。北加はワクチン接種率が90%と高くマスク無の生活をしており、落ち着いています。8月には、バーベキューも開催。

上海理窓会 葉副会長

(日本国内から参加)

2012年3月に発足、コロナ禍のため大野会長、葉副会長も日本にいる。当初会員50名で始まり、現在35名、上海在住の会員での懇親会を11月10日に予定している。

シンガポール理窓会 今回は残念ながら欠席でした。

インドネシア理窓会 佐々木会長代理

2015年5月に開設され、ジャカルタと近郊在住者の会です。日本人会員25名、そして2009年頃のバンドン工科大学との交換留学生制度での卒業生約20名を含むインドネシア人会員27名で成り立っております。平常時には、月1回の飲み会を日本人会員で開催しておりましたが、コロナ禍で中止して来ましたが、11月からは復活できそうな状況です。

マレーシア理窓会 斎藤会長

会員数日本人15人、マレーシア人30名、コロナ禍でロックダウン、外出禁止、外食禁止、が続いている。一時感染者2万人/日、死亡者500人/日の状況があった。ワクチンは中国製しかなく、外務省の制度で日本に帰国して接種した。雑誌で会員募集して2名発見。そろそろ懇親会を開催出来そう。

タイランド理窓会 長谷場会長

4月からロックダウン状態だったが、11月から制限がなくなる、子供の学校も始まる。会社で自宅勤務か出勤か希望を聞いたら、全員自宅勤務希望であった。コア会員6-7人で、忘年会開催を予定している。

ベトナム理窓会 小林功典会長(左)小林健二副会長(右)

規制は厳しく4月からロックダウン状態で3-4月は工場勤務者は工場に寝泊まり又は近くのホテルに宿泊状態であった。10月後半になり制限解除され、店内飲食が認められた。

マレーシア・インドネシア共通課題

現地人卒業生との繋がりの維持発展方法、他支部も現地人卒業生を知り、フォローしたいとの希望あり。大学に海外出身の卒業生情報提供をお願いしたい。

海外支部・海外経験者として今後実施したい事

学生向けに、海外経験者とのオンライン会議を開催し海外留学や海外での就職希望者に生きた情報提供で支援する。

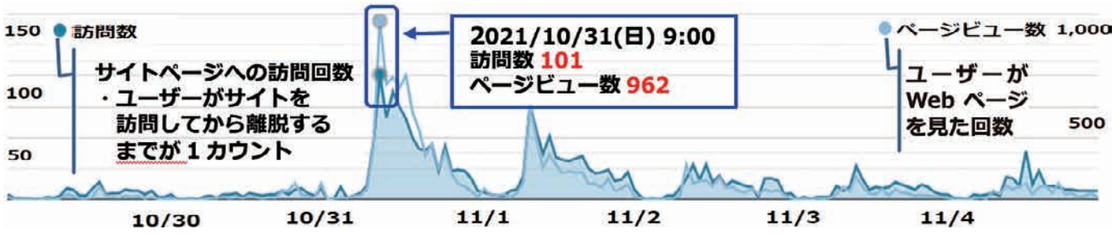
HCDの特設サイト 10月31日で訪問回数3000突破

(槇 常務委員)

HCDのサイトへの訪問数などを「Googleアナリティクス」で分析した結果、開催当日（10/31）の9時には、訪問数101となり、訪問者がサイトページを見た回数（ページビュー数）は962まで著しく増加しました。さらに、開催当日の合計訪問数は3,111、ページビュー数が5,809となり、HCDに対する関心の高さを示しています。(訪問回数分析は露木会員に協力頂いた)

10月31日のページビュー数&ページ別訪問数

No	①ページビュー数 ②ページ別訪問数 ページタイトル名／合計数	① 5809	② 3111
1	東京理科大学 HCD2021	2186	646
2	理窓会エンターテインメント	462	313
3	理窓会関連団体①	308	197
4	近代科資料館映像コンテンツ	239	156
5	キャンパス紹介	187	128
11	理窓会支部	170	116
12	お楽しみ抽選会	168	146
13	ごあいさつ	163	118
14	サイエンス夢工房	160	135
19	理窓会海外支部	69	58



受章の栄 第113回 新年茶話会で表彰される方々

(敬称略)

叙勲者	濱田 陽一	昭和47年 理学部数学科卒	瑞宝双光章	2019年春
	松本 紘司	昭和38年 理学部第一部数学科卒	瑞宝中綬章	2020年秋
	小久保正己	昭和45年 理学部第一部数学科卒	瑞宝小綬章	2021年春
	飯島 康典	昭和50年 薬学部薬学科卒	旭日小綬章	2021年春
	白壁 俊六	昭和42年 理学部第一部応用数学科卒	瑞宝双光章	2021年秋
	堀木 俊男	昭和48年 理工学部経営工学科卒	旭日双光章	2021年秋
	大栗 育夫	昭和49年 工学部建築科卒	旭日中綬章	2021年秋
	佐東 雄二	昭和50年 理学部第一部数学科卒	瑞宝小綬章	2021年秋
	森 久	昭和51年 理学部第一部応用数学科卒	瑞宝小綬章	2021年秋
第24回 坊っちゃん賞	中島 勝明	昭和42年 薬学部製薬学科卒	岩澤 健二	昭和59年 理学部数学科卒
	阿部 勝彦	昭和55年 理学部化学科卒		
参与記	仲里 恒雄	昭和35年 理学部物理学科卒		
	阿部 正彦	昭和45年 工学部工業化学科卒		

今年度は、コロナ禍のため「3世代理窓会会員特別表彰」を選出せず、次年度に表彰する。

FACULTY OF PHARMACEUTICAL SCIENCES

薬学部創立60周年を記念して

東京理科大学薬学部長 宮崎 智

東京理科大学薬学部は、2020年に60周年を迎えました。大袈裟かもしれませんが、歌舞伎界で称されるように、ようやく研究·教育·社会貢献で本学を支える一人前の大人となったと言えるのかもしれません。本稿では、これまでの経緯や現状を紹介しつつ、記念すべき節目をOG,OBの方々と共有·祝福させていただきたいと思います。

1. 沿線

東京理科大学薬学部は、1960年4月9日に、第1期生140名が入学しています。薬学科1学科でのスタートでした。その後1965年に、製薬学科と薬剤·衛生薬学科の2学科へと改組、1967年に薬剤·衛生薬学科があらためて薬学科として改称されます。さらに、1978年に大学院博士課程設置が認可され、現在の学部·大学院体制が確立されました。2003年に野田地区を中心とした生命系研究拠点形成の推進に伴い、野田キャンパスへの移転があり、2006年の全国的な6年制薬学教育開始時からは、現在の6年制薬学科と4年制の生命創薬科学科の2学科体制への改組が実施されました。6年制の導入に伴い、多くの薬学系大学が薬学科のみに移行しましたが、本薬学部は、2学科の定員数を同数の100名としたまま6年制を開始しました。薬学を基礎とした「研究」ができる大学としての存在意義を継続しています。

2. 薬学教育の現状について

6年制薬学教育の特徴はなんといっても22週間に渡る長期実務実習の導入です。薬剤師免許を持たない学生が、薬局と病院で実際の実務を学ぶ仕組みが導入されました。これに伴い、実習生の質保証を担保させる目的の1つとして、全国的に画一化された、薬学コアカリキュラムが制定され、約900項目の必修項目が薬学科の卒業要件となりました。また、こうしたカリキュラムの遂行実態評価のために薬学評価機構が設立され、本学も第1回の評価を受けています。こうした制約は、学生のみならず教員の研究活動時間の大幅な削減に繋がり、全国的に見ますと、博士課程進学者数の圧倒的な減少を招いています。また、医学部が無く、大学病院を持たない本学は、先のカリキュラムで求められている「チーム医療」教育の実現も不安材料の1つとなりました。しかし、本学薬学部は、大学病院が無いことを逆手に取り、筑波大学、東京医科歯科大学、獨協医科大学、東京慈恵医科大学、順天堂大学、日本医科大学等と次々に教育·研究連携を結び、病院実習への磐石の基盤が出来上がってきています。理事の方、学長室や教職員の理解と努力の賜物であり、この場をお借りしてお礼と敬意を表したいと思います。先に、博士課程在籍者の全国的な減少について触れました。これまで、本学の大学院の薬学研究科については、修士課程進学者が学部卒業者の90%以上を占めており、生命創薬科学科も実質6年制となっている旨の広報は頻繁になされてきました。しかし、下記の表に示しましたように、本学の博士課程在学者も合計で40～50名を数え、課程博士としての学位取得者も毎年10名近くに達しています。2019,2020年は論文博士を加えて18名の学位取得者を輩出するに至りました。

年度		2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
学位取得	課程博士	4	7	2	2	7	3	5	7	9	12
	論文博士	7	8	6	4	7	2	7	1	9	6
	合計	11	15	8	6	14	5	12	8	18	18

研究時間の圧迫ということも述べましたが、2018年度の生物·医学系分野の論文数では、私立大学として全国で唯一、東京理科大学薬学部だけがベスト10にランクインしました。こうした背景も博士課程進学者の確保に繋がっているのでしょう。薬剤師国家試験についても合格率、全国順位とも他の私立大学を圧倒して良い成績を納めることができています。OB,OGが築いてこられた校風と先人教職員の工夫等が定礎となっています。さらに、2018年度からは、神楽坂キャンパスにて医療薬学教育研究支援センター（2研究室は当該センター内で活動中）も開設し、2020年度はオンライン講義の充実（これもコロナ禍の逆風を順風に変えた成果）もあり、1000名以上の社会人受講生が参加しています。

医療薬学教育研究支援センターの年度別の講座数と受講者数

講座名	年度	2018	2019	2020	2021 前期	2021 後期
薬剤師のためのスキルアップ講座	講座数		16	13	8	8
	受講者数		245	661	371	—
レギュラトリーサイエンス研修講座	講座数		7	6	0	5
	受講者数		170	261	0	—
薬学マーケティングとリスクコミュニケーション講座·その他	講座数		6	5	3	5
	受講者数		73	106	52	—
総計	講座数	5	29	24	11	18
	受講者数	248	488	1,028	423	—

2018年度はカテゴリー分けしていません。
2021年度後期の講座数は予定です。詳細はセンターのHPでご確認されて、是非、ご出席ください。 URL:https://www.tus.ac.jp/sccper/

2025年の葛飾移転に向けて、2021年6月に新棟の建設が始まりました。移転後も野田キャンパスには薬草園等は維持されますので、神楽坂の医療薬学教育研究センターとともに、理科大史上初となる3キャンパスを活動拠点とする学部が誕生します。薬工連携、核酸医薬品等の新しい研究領域の拡充等を計画しています。

関連団体・諸会だより

多様な分野の方々と情報交換を重ねて ～ 東京理科大学同窓経営者会

東京理科大学同窓経営者会の経緯を簡単に説明しますと、経済界や産業界において要職にある同窓生が親睦を深めるとともに、相互の情報交換を通じて、大学及び社会の発展に寄与することを目的として発足しました。東京理科大学理事会が中心になって会員を勧誘し始め、2005年4月に初めて会合を開催し活動を続け、2016年4月には理窓会の関連団体に加盟しました。本会の高い志を多くの方々に理解を得ながら会合を重ね、外部講師、理科大OB、理科大教授の3つの領域から講師をお招きするなど会員同士の交流も活発になりました。現在は会員数131名が所属する会に成長することができました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、会合は対面ではなくオンラインで6回開催し、今年度も元防衛大臣・拓殖大学顧問の森本敏氏、経済産業省経済産業政策局長の新原浩朗氏、株式会社リクルートホールディングス代表取締役会長兼取締役会議長の峰岸真澄氏、国際基督教大学特別招聘教授の岩井克人氏などからオンラインにてご講演いただきました。

2年間に及ぶコロナパンデミックのみならず、経営を取り巻く環境は急速に変化しております。会員の皆様におかれましては、働き方改革の推進、攻めのデジタル化、そして、新たなグローバル課題に日々取り組まれていると存じます。アフターコロナにおける経営はどうあるべきかについて、これからも、幅広い知見や経験をお持ちの有識者の方々との意見交換を行うことによって、会員の皆様のお役に立ちたいと考えております。

行政書士理窓会の現状とこれから ～ 行政書士理窓会

行政書士理窓会は、行政書士資格を有する本学卒業生、教職員、学生の団体です。6名の会員により2019年8月に設立されました。

2019年度は設立総会、規約制定、理窓会関連団体登録、研修会（「化粧品に関わる行政書士業務」について今村が講演）を行いました。理窓会関連団体に登録された士業の団体は初めてです。

2020年度は予定されていた定時総会、研修会、役員会は、コロナ禍によりすべて中止となってしまいました。定時総会議案書は会員間のメールのやり取りで承認されました。ただ、2020年『理窓』9月号に新規加入関連団体として紹介していただいたところ、早速問い合わせをいただきました。よって、会員資格のある方々がまだまだいらっしゃるのではないかと思います。

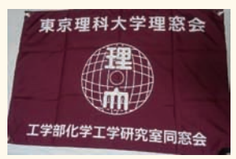
2021年度も定時総会、研修会、役員会を予定しておりますが、今のところ実施できておりません。コロナの状況は我々の力ではどうすることもできません。状況が落ち着くまで待って、本来の目的である会員相互の研鑽、親睦を図り、新たな会員を発掘し、何らかの形で母校の発展に寄与できればと考えております。早々に理窓会倶楽部で定時総会が開けることを心待ちにしております。

代表:今村彰啓（工・工化1980）
連絡先:popolu@za.cyberhome.ne.jp

工学部化学工学研究室同窓会の現状とこれから ～ 工学部化学工学研究室同窓会

本同窓会は1997年吉野善彌教授の退任講演から始まり、その後は教授就任記念会や同窓会を不定期に開催して参りました。各回は在校生を含め100名近くの参加者が得られています。記念講演や研究室の最近の研究テーマを発表して頂きながら、研究内容の様変わりを実感しています。その後は懇親会となり、同窓生同士、同窓生と研究室学生との懇親、各年代から当時のエピソード発表等、楽しく進めることができています。

すでに卒業生は700名を超え、さらに有意義な会とするために、規約を作成し、2017年5月に理窓会関連団体への登録を行い、理窓会からは写真の同窓会旗を頂き、同窓会の会場に張り出して活用しております。



本会は2016年と2018年に開催し、その後は同窓会を2年毎に開催する計画としましたが、2020年は新型コロナウイルス感染者数の増大から延期とし、期待した2021年も残念ながら延期とせざるを得ないと判断しました。

工学部工業化学科は2022年4月に葛飾キャンパスへの移転が予定されています。本キャンパスに訪れたことが無い同窓生がほとんどですので、新しい研究室の見学を兼ねた同窓会を計画したいと考えております。

会長 岡城孝雄(工・工化1977卒)

支部だより 新支部長あいさつ

岩手新支部長　佐藤 尚（理・数1979）

令和3年4月から支部長となりました佐藤尚（タカシ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

岩手支部は50年余りの歴史を有し、現在約140名の会員を把握し活動を行っています。主な活動は、11月に開催する年に一度の総会で、会員による講演（近況報告）や本部からの説明、情報交換などを行っております。昨今の参加者数は、残念ながら会員の1割を超える程度となっています。まだ総会に参加したことがないという方も、一度は総会と引き続き行われる懇親会に顔を出していただきたいと心から願っています。事務局としても、参加して楽しい総会・懇親会となるように、エベレスト登山報告や和算の話、楽器演奏など趣向をこらしています。今後も、より一層参加者を増やす努力をしてまいります。もし、岩手在住もしくは岩手に勤務している同窓の方で総会の案内が届いていないという方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。

また、支部活動活発化のため、こうよう会との連携を一層深めたりしていくことも必要と考えます。更に、東北6県の支部合同で行われる行事にも積極的に参加していきたいと思います。皆様のご支援、ご協力をこれからもよろしくお願い申し上げます。

静岡新支部長　海野 俊彦（理・化1980）

令和3年4月1日より、新支部長に選任されました海野でございます。

歴代の支部長、各支部会長の多大なる功績を考えますと、身の引き締まる思いが致します。

静岡県は東西に長く、東部、中部、遠州の3地区で理窓会をもち、各々が毎年総会及び諸活動を展開しています。令和2年度はコロナ禍の影響で、総ての地区の総会は中止となり、活動も大きく縮小されました。令和3年度は、新型コロナウイルスに打ち勝ち、どの地区も活動を再開したいと意欲に燃えています。

最後になりましたが、これまで同様、本部理窓会をはじめ、総ての会員の皆様と協力し、母校の東京理科大学、東京理科大学理窓会の発展のために微力ながら努力をして参りたいと思います。

大学トピックス

本学学生が日本学生陸上競技対校選手権大会 男子400mで優勝

2021年9月17日～19日にかけて埼玉県熊谷市で行われた第90回日本学生陸上競技対校選手権大会（全日本インカレ）に、本学陸上競技部から7名の部員が出場しました。そのなかで、男子400mに出場した**友田真隆さん（薬学部生命創薬科学科1年）**が予選を1位通過し、決勝も好記録（46秒35）で見事に優勝しました。陸上競技部の創部以来、初の快挙となります。

友田さんは、昨年、高校日本一を決める全国高校大会（インターハイ代替大会）でも高校歴代11位（U18日本歴代2位）のタイム（46秒51）で頂点に立っており、高校と大学の2冠を獲得しました。

今年6月に開催した東京オリンピック代表選考会（日本陸上競技選手権大会）でも好成績を残しており、これからの活躍が期待されています。

友田真隆さん

創業から続く想いをカタチに。

To shape the feelings that follow from its inception.

1919 年京都で生まれたダイニックは、創立以来 100 年をこえる歴史を誇ります。

主要製品

書籍装幀材 / 文具・パッケージ素材 / カーペット・壁紙 / プリンターリボン / フィルムコーティング製品 / 各種印字・印刷用素材 / 接着芯地 / 不織布 / 自動車内装材 / 各種フィルター / ターポリン / 名刺・ハガキプリントシステム / 有機 EL 用水分除去シート / 食品包材

ダイニック株式会社
DYNIC

東京本社　〒105-0004　東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル　TEL.03-5402-1811　URL:https://www.dynic.co.jp

滋賀工場 / 埼玉工場 ISO 9001・14001 認証取得
王子工場 / 真岡工場 ISO 9001 認証取得

FSC®(CoC 認証を取得（東京本社・埼玉工場 滋賀工場）
責任ある森林管理のマーク
FSC® C106862

支部だより

新潟 書面審議で総会を開催

《新潟支部》 支部長：上杉 肇(理工・数1980)
日　時：令和3年9月11日(土)

令和3年度の役員会・総会は昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とし、書面審議をすることになった。手紙で書面審議の案内とパスワードを知らせ、審議内容についての意見を求めた。新潟支部のホームページに載せた資料は次の通りです。

Ⅰ 令和2年度事業報告
Ⅱ 令和2年度会計収支決算報告
Ⅲ 令和3年度事業計画(案)
Ⅳ 令和3年度会計収支予算(案)
Ⅴ 本部代議員会報告
Ⅵ 役員改選
Ⅶ その他(新潟支部の会員把握状況)

ご意見をメールで、令和3年9月10日までに送付してもらうことにし、翌日の9月11日に審査をおこなった。審議の結果、賛成多数で議案はすべて承認され、結果報告は「新潟理窓35号」に掲載し報告することにした。来年度はコロナ禍が収まり、総会・懇親会を開催し、会員同士の親交を深めることを願っている。

長野 HDCでオンライン支部総会

《信州支部》 支部長：飯田 洋市(理・数1989)
日　時：令和3年10月31日(日)

令和3年度信州支部総会は、東京理科大学ホームカミングデーに参加する形で、10月31日(日)にオンラインで開催しました。理窓会が契約するZoomをお借りし、支部会員限定とした第1部の支部総会をはじめとした3部構成で実施しました。大学から浜本隆之理事長(ビデオメッセージ)、理窓会本部から増渕忠行会長をお迎えし、全部で27名の出席がありました。令和2年度事業報告・会計報告および監査報告は、Zoomの投票機能を利用した決により全て承認されました。第2部の講演会は、信州大学の植村健准教授に「脳の働きを分子レベルで考える」と題してご講演いただきました。第3部の懇親会も10名の参加があり、交友を深めることができました。

富山 講演「大学の〈いま〉と〈これから〉コロナ禍の状況を踏まえて」

《富山支部》 支部長：滝本 恒平(理・数1966)
審議日：令和3年11月13日(土)
場　所：富山県立大学9階会議室

新型コロナウイルス感染拡大防止の中、総会は、富山県立大学の会議室をお借りして開催した。滝本支部長の開会挨拶の後、来賓紹介があり、来賓挨拶はともにビデオメッセージで行った。大学からは浜本隆之理事長より、大学の現状の報告では詳しく説明があった。また、理窓会からは増渕忠行会長より、コロナウイルス感染拡大防止中でのホームカミングデー開催などの活動報告があった。総会では令和2年度の会計報告、教育会報告、令和3年度の支部役員案や支部活動案などあり議決した。その後講演会があり「大学の〈いま〉と〈これから〉コロナ禍の状況を踏まえて」の演題で富山県立大学中島範行副学長の講演があった。その後、抽選会と記念撮影があり、希望者は富山県立大学の構内見学会を行った。

知的財産戦略を支援するプロ集団です
特許業務法人
太陽国際特許事務所®
□東京オフィス 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17　TEL 03-3357-5171　FAX 03-3357-5180
□横浜オフィス 神奈川県横浜市
□USオフィス Alexandria, VA U.S.A
http://www.taiyo-nk.co.jp

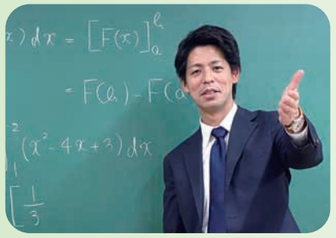
卒業生だより

さまざまな分野で活躍する理科大の卒業生たち。彼らの“今”を紹介します

Freshman フレッシュマン

失敗を恐れるな！ チャレンジで人生はおもしろくなる！

舘 龍之介（たち りゅうのすけ）さん　(理工・数2012)　北海道札幌西高等学校勤務



教職ついて10年目になります。教員2年目から3年間、担任をし、教員6年目から4年間教務主任を務めました。その4年間はとても充実し、中高連携(縦のキャリア教育)について研究を進めました。

20代から教務主任として学校運営に携わることができたのは、貴重な経験でした。今は学校を、教育を俯瞰的に見ることができていると感じています。教務主任なりたての頃、当時の校長から「失敗を恐れるな！ 失敗してもいいからチャレンジしよう。チャレンジで人生はおもしろくなる！」とずっと言われていました。ここから僕はより主体的に考え、積極的に行動し、冷静に振り返るというサイクルをできるようになったと感じています。また、常に「問い・仮説」を立て、検証し、まとめ、新たな問いを立てるサイクルを意識しています。これは、大学における研究のサイクルと似たような形だと思います。間違いなく、大学での学びはこれからの人生に大きな影響を及ぼします。大学での学びをいかに汎用化するかが大切だな～とふとした時に感じています。

大学時代は、たくさんの先生方や友人に出会い、毎日一緒に学ぶことが楽しい日々でした。現役学生のみなさん、大学での「人との出会い・繋がり」は同じ学部だけではなく、他学部の繋がりも大切にして行きましょう。理科大には個性豊かな方々がおられます。その出会いや繋がりを卒業後も大切にし、久しぶりに会った時には「思い出話」に花を咲かせましょう！ また、他学部の専門的な知識や発想・思考法は、既存の枠からはみ出し、新しい発想に結びつくかもしれません。

今後も「失敗を恐れず、チャレンジし続けたい」と思います。

Freshman フレッシュマン

施策の達成感を求め奮闘する日々

高橋 悠一（たかはし ゆういち）さん　(薬・生創2015)　厚生労働省勤務

東京理科大学を卒業し、現在、厚生労働省に勤務しております。勤務直後は、医療機器や再生医療等製品に関する業務を担当していたが、その後医療費の分析や健康保険上の診療報酬に関する業務を経て、現在はワクチンや血液製剤に関する業務を担当しています。

入省してからの時間の経過は早く、ついこの間社会人になったと思っていたら、既に様々な利害関係者と調整しながら業務を進めて行くことを求められる中堅世代になっていました。職場にも、後輩たちも増えてきており、また周りの職員にも配慮しながら働く必要性を感じております。

厚生労働省の業務内容はどれも国民生活に密接に関わり、各一つ一つの意思決定に大きな責任を伴います。医療、保健、介護とたくさんの業務がある中で、行政的な判断だけでなく、科学的な目線での判断も必要になり、化学物質の構造式と睨めっこしたり、疫学的な論文を読んだり、数学的な計算をしたりと、大学での勉強した内容を踏まえ、更なるステップアップが求められます。

最近は、組織を代表して人前で話す機会も増えております。そこで理科大卒の先輩と出会うこともあります。その出会いの中で人脈が出来る事もあり、その人脈によって助けられることが多いと感じております。

厚生労働省は、業務内容も多く大変な職場ですが、中心となって進めてきた施策を無事に施行された時、努力が報われ、その達成感には素晴らしいものがあります。これからも、たくさんの人の為になる仕事に取り組んでいきたいと考えております。

東京理科大学アカデミックパートナーズ株式会社
当社は、東京理科大学の事業会社として、在学生、卒業生及び教職員のライフスタイル支援、教育・研究環境の充実に寄与すべく、さまざまな事業活動を展開しております。
・人財派遣 ・紹介業務
（卒業生職業紹介 ・ 在学生向けアルバイト紹介）
・住まい紹介事業（在学生 ・ 卒業生への住まい紹介）
・保険代理店事業（大学 ・ 在学生向け保険ほか） 他
140周年記念グッズやオリジナルTシャツ など
東京理科大学公式グッズ
【TUS ONLINE STORE】にて
好評販売中
https://tus-online.com/
TUSAPメルマガ会員募集中
右のQRコードを読み取り、メールアドレス 776g1r@a09.hm-f.jpに「からメール」を送信してください。

Middle Standing
がんばる同窓生

800年以上続くケンブリッジ流教育にみる大学のあり方

第4回東京理科大学物理学園賞
飯田 史也（いいだ ふみや）さん（工・機械1999）
ケンブリッジ大学工学部 ロボット工学教授

略歴

東京理科大学工学部、工学研究科修士課程修了後、スイス・チューリヒ大学情報工学科にて博士課程修了(2006年、理学博士)。ドイツ・イエナ大学スポーツ科学学科での研究員、米国マサチューセッツ工科大学電子情報工学科でのポスドクを経て、2009年よりスイス・チューリヒ工科大学機械工学科にて助教の職に着任。その後2014年から英国ケンブリッジ大学に移籍し現在に至る。

専門はバイオインスパイアード・ロボティクスと呼ばれる生物学とロボット工学の学際分野。

ケンブリッジ流教育

大学教員のほとんどは研究で業績を上げることで職を与えられる。大学教員になると仕事の半分は学生教育であるにも関わらず、そこまでのキャリアで教育についての専門的知識や技能を得る機会はほとんどない。学生たちはあまり気づいていないかもしれないが、大学教員のほとんどは教育のアマチュアというわけである。筆者は日本、スイス、アメリカ、ドイツ等の教育現場に長年携わってきたがこの悩みは尽きることがなかった。そんな思いの中、7年ほど前にケンブリッジ大学で教員になる幸運を得た。ここに来て驚かされたのは、とにかく摩訶不思議な規則が多いということである。入学して最初に覚えるのがドレスコードで、入学式当日の夜に蝶ネクタイとガウンを着て夕食会に参加させられる。ドラの合図で一斉に起立をし、教員の入場を見届けてラテン語による祈りとともに会が始まる。教員は一段高いいわゆるハイテーブルに座り学生と交わらない。翌日からは次から次へと現れる奇妙な単語群に翻弄される。普通の学校で使われる「宿題」「試験」「学期」等の単語にケンブリッジ特有の表現が割り当てられている。ケンブリッジ特有の「気取り」なのか、それとも他の学校で言うところの「宿題」とは意味が違うということなのか、本当のところはよくわからない。が、確かにケンブリッジでの「宿題」は宿題以上の意味がある。

ダイニングホールでの夕食会の様子。
学生は手前、教員は写真奥の一段高いハイテーブルに着席する。

大学での教育は極めてきめ細かく、学部1年生から通常の集団授業に加え、全ての学生に無数の個人指導が毎週施される。例えば工学部での力学等の基幹科目では、まず学部生全員が学部に赴きそこで集団講義を受ける。学部での講義は一人の教員により行われるが、それが終わるとそれぞれが所属する31校のカレッジに戻り、そこで講義内容を個人指導される。通常は教員一人と学生二人が隔週1時間ほど講義内容や宿題について議論する。

つまりひとつの科目を担当教員とそれぞれのカレッジに在籍する30名以上の指導教員が共同で教えるということになる。もちろん講義内容や宿題はあらかじめ全ての教員間で共有され、その内容はほとんど変わることがない。もし変えようと思えば1年以上前から計画し、全ての教員から事前に了解を得なければならない。授業内容が変えられないということは、逆にその質を高くしておく必要がある。長期間変わることのない原理原則が選別され、それが体系化されて一つの科目ができている。実際の個人指導では学生の個性や理解度に応じてディスカッションの内容がカスタマイズされるため、講義内容は様々な方向への発展の可能性を残していなければならない。そのためできる学生は飛躍的に成長し、その一方で落ちこぼれる学生も極めて少ない。もちろん、このような良質の教育方法は若手教員(中には大学院生の場合もある)へのトレーニングという側面もある。筆者がこの教育システムの全体像を初めて理解したときにはひどく驚いた。突き詰めると大学教育とは原理原則をみんなで吟味し理解を深めるプロセスだということをこのシステムに組み込まれることによって知ることができた。

ケンブリッジ流教育の凄さは800年かけてこのような高コストなシステムを作り上げて維持してきたことである。薄給(?)にも関わらず良質な教育を施す教員たちの敬服すべき良識や、経済的に成功した卒業生たちから寄付を募るメカニズム、さらに数世紀に渡り蓄積された大学の物的、形式的資産。これらが全て機能してようやくこのような知の伝達メカニズムが可能になる。昨今、インターネットの普及によりあらゆる情報や価値観が氾濫している。専門家でさえも困惑してしまうほど多様な考え方があふれる世界において、多数の優秀な学生と教員が有機的に繋がることで有用な知識体系を作り上げていくプロセスこそが大学に求められている役割なのかもしれない。

Senior
シニア

自分らしく学校経営、自分らしく生きる

武内 彰（たけうち あきら）さん（理専・物1987）
白梅学園高等学校校長

◇教育管理職への道

理学専攻科を修了して、都立高等学校の物理教員として就職しました。その後、三十年あまりにわたってお世話になりましたが、四十歳からの二十年間は教育管理職として勤めました。管理職を志したのは、生徒のことよりも自分たちが楽をすることを優先し、教育活動に責任をもたない周囲の多数の教員たちとの戦いに疲れたからです。数名の仲間の教員たちと学校をより良くしようと奮闘しましたが、それもかなわず、「自分で理想の学校をつくるしかない」と考えたのです。

◇学校経営の責任

最初に教頭として勤務したのは、伊豆大島にある大島南高等学校でした。海洋科があり、都内から多くの生徒が海を渡り、寮生活をしている学校でした。実習船で大島から神戸まで大しけの中を生徒共に航海実習に参加したことは忘れがたい体験でした。良き上司と優秀な教職員たちに恵まれ、管理職としての基礎を学ばせていただきました。

その後、西高等学校の副校長となり、都立学力トップ高の生徒たちが学習・学校行事・部活動に真摯に取り組み、高みを目指している姿を目の当たりにしました。生徒たちの主体性を生かしながら、教職員でどのようにサポートしていくべきか、互いに知恵を出して協働する日々を過ごしました。その後は、教育行政に携わりました。生徒がいない日々は寂しいものがありましたが、二十校あまりの担当校の学校経営を支える仕事を通して、優れた学校経営に触れることができたことは貴重な経験でした。このとき後に自ら校長として着任することになる日比谷高等学校を担当したのです。

◇学校を変える

翔陽高等学校の校長を経て、日比谷の校長に着任しました。志の高い意欲的な生徒たち、それを献身的に支える教職員たち、何事にも協力的な保護者の皆様、そして各界で活躍する同窓生の皆様、これらの総合力が高まり、学校が活性化しました。校長室の扉を開け、日々さまざまな生徒たちと語り、相談に乗り、バドミントン部活動で共に汗を流しました。英語が堪能なわけではありませんが、思い切ってニュージーランドや韓国の学校と姉妹校協定を締結しました。また、生徒たちがハーバード大学やMITを訪問する研修やニューヨークのアスペン研究所において専門家を前にして世界の食料問題の解決策をプレゼンする研修もつくりました。たとえ、短期間であっても若いうちに世界を見つめる体験が、生徒の将来につながると考えたからです。令和2年のCOVID-19による全国的な臨時休業の際には、いち早く全校オンライン授業を実施しました。生徒・教職員とともに、学校がより良い方向へ進み、生徒たちの希望する進路も実現できるようになったのです。学校をよりよくしていく手ごたえを感じながら、自分らしく学校経営に勤しみました。

令和3年3月に定年退職し、現在は小平市にある白梅学園高等学校で校長を務めています。

現任校では、「生徒間の対話のある授業場面」をつくって、「生徒たちの思考力等を高めていきましょう、そしてより主体的に学びに向かう生徒集団へと育てていきましょう」というビジョンを示して、教職員と共に取り組んでいます。毎日授業を見て、良い取組を「校長室だより」に掲載して学校webサイトで紹介しています。また、バドミントン部の顧問として生徒たちと汗を流しながら、彼女たちの技能や精神面の向上を支援しています。組織のトップには常に重責が付きまといます。しかしながら、トップにしかできないこともあるのです。その醍醐味は成った者にしかわからないのかもしれません。私が常に自分に言い聞かせているのは、「自分らしい学校経営をする」ということです。人の生き様も型通りであるわけではありません。「自分らしく生きる」、これが最も大切だと考えます。

◇現役生へ

現役の学生の皆さん、理科大の卒業生たちは至る所で活躍しています。社会に出ると、そのつながりに驚かされることもあるでしょう。また、理科大の卒業生は概して専門性が高いと思います。在学中に鍛えられているからでしょうが、自ら未知なるものに向かってとことん追求していくタイプの人が多いように感じます。

社会に出ると、さまざまなことがあります。楽しいこともあれば、困難に打ちひしがれることもあるでしょう。若い頃の私は、人と戦うことで学校を変えようとしました。しかし、それがかなわなかったから教育管理職を目指したのです。今の私ならば、一人一人の良さを見出して、それらをつないで組織としての成果へと導けるようにします。そうして、なかなかトップの方針を理解しようとしてくれない人がいたとしても、対話を繰り返したり、働きかけをしたりすることによって、少しずつ変容してくれる人も出てきます。苦しいときにも、心の中に少しばかり「楽しむ気持ち」をもって、さまざまなハードルを乗り越えていくことができるものです。母校の御発展と皆さんの御活躍をお祈り申し上げます。

経営学部 経営学科 坂本正典研究室

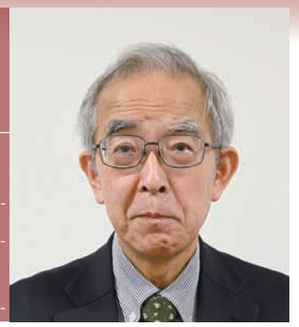
未来の理科大経営学部の社会貢献構想を追い続けて

坂本正典研究室

東京理科大学
経営学部 経営学科

坂本 正典 教授
（東京大学工学研究科物理工学専攻博1979）

- 専攻分野：技術経営
- 研究分野：技術戦略、科学技術と社会
  プロジェクトマネジメント



【経歴】
東京大学工学研究科物理工学専攻博士課程修了(1979)。㈱東芝(総合研究所、米国MIT客員研究員、液晶事業部など)、CovionGmbHビジネスマネージャーを経て2004年よりイノベーション研究科教授。2019年より経営学研究科兼担。

理科大研究職への道　本人談

私の父親坂本正春は戦前の物理学校理化1941(S16)年卒業で即応召しました。輜重兵学校での訓練が成績優秀で恩賜時計を受けたそうですが物理学校で習ったことばかりで簡単だったと述懐しておりました。私は、東大で博士をとって東芝総研に入職後、最初の上司が当時、東京理科大学理学部化学科有機化学の都築洋次郎研究室（ノーベル医学生理学賞の大村智先生も同研究室）のご出身で後に東芝電池社長になられる和田守叶氏でした。理科**大MOT（技術経営専門職大学院）**の立ち上げの際、私を理科大に呼んでくださいました。MIT(米国マサチューセッツ工科大)から帰国後、理科大ご出身の小林駿介先生とも政府委員会等で交流する機会がありました。理科大から新卒生を何人もお迎えして、TFT-LCDの研究開発をドライブしました。当時、開発部隊は昼夜を分かたぬハードな日々でしたが、IBM（米国本体）との合弁会社DTIの工場立ち上げも含め今となっては懐かしい思い出です。基礎から生産まで貴重な体験ができ一生の宝となりました。

亡父 正春

MITでの指導教員
Millie & Gene Dresselhaus 夫妻

東芝での研究の道のり

東芝の液晶事業は低温ポリシリを使ったスマホのパネルで活況を呈しましたが、その後は、韓台中の猛攻で国策的にJDIに集約されました。

2007年から、理科大電気OBで、日本IBM理事の田中芳夫先生がMOTファカルティに加わられました。田中先生が日本IBM時代、東芝との合弁会社の企画と実現にご尽力されたことを後で知り大変驚きました。

太陽と水から電気を作る自立型水素エネルギー供給システム
「H2One」(東芝)

MOTから経営学部へ

理科大MOTが2011（H23）年からPORTAに移り、上層階の理窓会や理窓クラブと文字通り距離が近くなり、前述の田中先生のお誘いもあり、理窓企業人会を覗かせて頂いて、同窓経営者会でMOTのご紹介をさせて頂き、父親の物理学校OB資格で深くお付き合いさせていただきました。

学問とビジネスのご縁ばかりか、東芝時代、若い方の結婚式でお知り合いになった、「昭和3年シカゴ生まれ」とおっしゃるウォード（Fr. Ward Biddle 写真）神父様に導かれその後も長くお付き合いしておりましたところ、MOTに赴任当時教室のあった揚場町のオフィスに「サカモトサンスグチカクニイマスヨ」と電話があり筑土八幡の横の修道会に居るとのこと。さらにかつて理科大のカトリック研究会の顧問をしていたと言われましてこれにもびっくりでした。第6代東京理科大学長（1990-2001）の西川哲治先生もプロテスタントの牧師もされていたとは聞いておりましたが、何かのご縁を感じます。

故ウォード神父様

MOTでの思い出

私を呼んで下さった和田先生と、MOTでは社会人学生諸氏が会社で議論することが少ないテーマを研究しようと話し合い、地球環境問題に首を突っ込みました。理科大MOTがスタートした2004（H16）年スパコン「地球シミュレータ」が今でもよく見る気温上昇予測を発表し話題になりましたが、当時は温暖化否定論も多くあり、現在ほど社会的関心は高まりませんでした。意欲ある社会人学生達が、水素供給スタンドがなくても運用しやすい燃料電池電車の提案や人口減で余り気味になる夜間の原発電力で電解水素を作り脱CO_2、また太陽光発電や風力発電で電解水素を作り離島や脱原発世界のエネルギー貯蔵のシステム企画など学生の皆様と次々と国際燃料電池展で発表しました。国際会議で、米国ハワイ州の関係者で自然エネルギーNPOを主催していた日系4世のガイ・トヤマさんと知り合い、オアフ島はハワイ大学のHNEI(Hawaii Natural Energy Institute)で国際交流を行いました。ハワイ島ではガイさんのガイドで地熱発電施設の見学などキラウェア火山の活動現場での地熱発電はその迫力とともに大変印象的でした。

夏休みにハワイ大学の空いた学生寮を使い、理科大MOTのハワイ大学MBA短期夏季講習をやらないかと提案され、ガイさんの営業マインドにはMOT教員としても感服しました。

2019年から経営学部経営学科に異動となり、学部学生諸君と気候危機、ﾌｰﾄﾞﾛｽ、SDGs、POST資本主義等の未来の問題に目を向けて、現在任期終了を目前に、経営学部の一員として今後のさらなる発展を願っております。

（文責:伊藤稔）

経営学部 ビジネスエコノミクス学科 菅原研究室

医療経済データサイエンス

菅原研究室

東京理科大学 経営学部
ビジネスエコノミクス学科

菅原 慎矢 准教授
東京大学 経済学部2005年

- 研究分野：
  計量経済学
  医療経済学
  高齢者介護の経済分析

研究室紹介

菅原研究室は、2017年に発足しました。データサイエンス手法の開発と、医療経済学分野への応用を中心課題としています。このうち基礎となるのは、データを分析するための方法であるデータサイエンスであり、統計学や機械学習といった分野を含んでいます。

研究紹介　医療経済データサイエンス

ビッグデータによる介護保険制度の分析

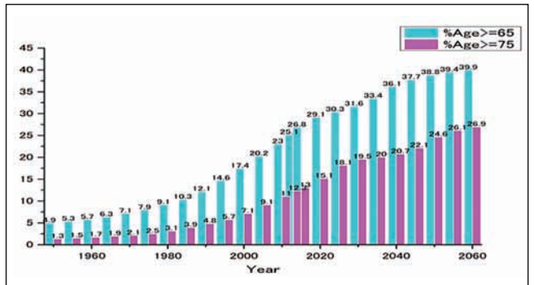


図1 高齢者人口比率 国立社会保障・人口研究所による推計

日本は、高齢化に関して名実ともに世界最先進国です。こうした急激な高齢化は、さまざまな社会·経済的影響を及ぼします。急増する介護の必要性に対して、日本政府は2000年に「介護保険制度」を施行しました。制度が始まった当初から、詳細な情報が電子データとして蓄積されてきています。この「介護ビッグデータ」を用いた研究を紹介します。

問題1.

有料老人ホームのリスクプレミアム

「有料老人ホームに入る際の費用支払いに関しては、「入居金制度」と呼ばれる経済習慣があります。これは、利用者が2種類のものを両方支払うというものです。1種類は月額費用と呼ばれ、毎月払うものであり、生活費などに当たります。もう1つが入居金と呼ばれるものです。まずホーム側が「償却期間」という年数を定めます。例えば、5年、10年といった年数が償却期間として用いられることが多いです。そして、この期間の家賃を入居時に一括先払いするのが入居金です。償却期間以上の期間より長生きした場合には、追加の家賃を払う必要はなく、月額費用だけで居住することができます。結果

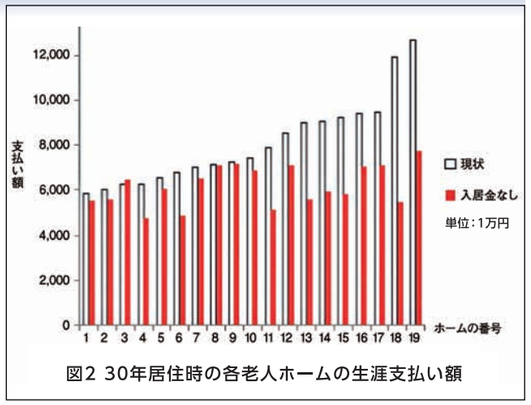


図2 30年居住時の各老人ホームの生涯支払い額

「リスクプレミアム」が生活費に上乗せされ、入居金なしのシステムより支払額が多くなっています。上の図2参照

問題2.

併設ケアマネージャーのインセンティブの歪

日本の介護保険に独自な制度として、ケアマネージャーが置かれています。現実には、ほとんどのケアマネージャーが併設ケアマネージャー（介護サービス部門を併設する）です。併設ケアマネージャーの行動について、さまざまなデータを用いて比較した結果、以下の歪を見つけました。

歪1「供給者誘発需要」併設ケアマネージャーがより高額なケアプランを作っている。歪2「選択的照会」利益を上げやすい高齢者を併設先に照会し、そうでない高齢者は他の事業者に紹介します。

まとめ

介護に関わる課題は上記2つに限られるものではなく、さまざまな研究をし、現在も研究領域の拡張を続けています。さらに最近では、日本と同様に介護保険制度を採用しているドイツとの間で国際比較を行うため、ドレスデン工科大学のアレクサンダー・カーマン教授との共同研究も行っています（写真）。ドイツ以外の国でも介護は共通課題であり、今後もより国際的ネットワークを広めていきたいと考えています。

ドレスデン工科大学カーマン教授と著者（右）ザクセン・スイス地方にて

研究室指導方針

現在のデータサイエンス市場はバブルであり、バブルがはじけた後でも生き残れる、しっかりとした実力をもった学生を育てたいと思っています。具体的には、大学では大学でしか学べないような、数学を中心した基礎力をしっかり身につけるべきだと思います。

朝日教育会議2021開催
不可能から可能へ～数学的思考で世界は変わる～

2021年9月11日(土)、朝日新聞社と本学の共催フォーラム「朝日教育会議“不可能から可能へ　～数学的思考で世界は変わる～”」を、ライブ配信により開催しました。

秋山 仁特任副学長

第１部では、「数学の伝道師」として各方面で活躍され、本学の数学体験館館長も務める秋山仁特任副学長によるスペシャルレクチャー「Wonder Math lab」が行われました。スペシャルレクチャーでは、数学が社会にどのような貢献をしているのか解説があり、これまでに数学が不可能を可能にしてきた事例を、数学体験館の教具を用いて紹介されました。数学の魅力を、実演を通してわかりやすく楽しく解説いただきました。

椿 美智子教授

第2部のプレゼンテーションでは「学問としての数学·ツールとしての数学～東京理科大学で深まる数学の世界～」をテーマに、本学経営学部の椿美智子教授、株式会社steAm代表取締役であり、ジャズピアニストとしても活躍される中島さち子氏のお二人に講演いただきました。椿教授は、経営学部の視点から、数学に基づくマーケティング4.0とコンシューマーウェルビーイング研究について講演されました。これまでのマーケティングの歴史を数学の視点から解説するとともに、モノを購入する場面など身近な事例を取り上げ、データサイエンスの役割やそこで使われる数学について解説いただきました。中島氏からは、ご自身の活動や経験を踏まえ、数学の世界をバーチャルで表現すること、数学と音楽、芸術、スポーツなど、さまざまな数学とのコラボレーションの事例についてご紹介いただきました。その幅広い数学の世界観から、意識していないところでも数学的思考が生かされている場面もあり、実は「みんなが数学者」なんだというメッセージをいただきました。

中島さち子氏

第3部のパネルディスカッションでは、「数学が、好き／数学で、遊び、学ぶ」数学への親しみを通して数学が世界の課題解決に果たす役割の可能性」をテーマに、秋山副学長、椿教授、中島氏が語り合いました。登壇者の方々が「数学」の世界に惹かれたきっかけから、現在も研究を続けるまでに没頭する数学の魅力について、それぞれの思いが述べられました。視聴者からは、「理科は好きだけど数学は苦手です。克服するためには?」「数学的思考を学べる、数学が好きになる本は?」等、学生からも多数の質問が寄せられ、議論は大いに盛り上がり盛況のうちに幕を閉じました。

本フォーラムのダイジェスト動画はこちら
https://www.tus.ac.jp/today/archive/20210914_1018.html

採録記事はこちら(朝日新聞デジタルに掲載)
https://www.asahi.com/articles/DA3S15067164.html?iref=pc_ss_date_article

寺本健一さんが金獅子賞
ベネチア・ビエンナーレ国際建築展

本学卒業生が
第17回ベネチア·ビエンナーレ
国際建築展で金獅子賞を受賞

イタリアで開催中の第17回ベネチア·ビエンナーレ国際建築展で、建築家　寺本健一さんがキュレーターとして関わったアラブ首長国連邦(UAE)館の展示が、国別参加部門の金獅子賞を受賞しました。

寺本さんは1999年に本学　理工学研究科　建築学専攻 修士課程を修了し建築家として活躍、現在は「office of teramoto」の代表を務めています。第17回ベネチア·ビエンナーレ国際建築展で、寺本さんは、自身が共同設立者である、ドバイと東京を拠点とする建築設計事務所waiwaiのパートナーである、ワイル·アル·アワール氏と共同キュレーターとして企画·構成を担ったアラブ首長国連邦(UAE)館の展示が、国別参加部門の金獅子賞(最高賞)を受賞しました。

UAE館でキュレーターを務めた寺本健一さん
=Imagescourtesy of National Pavilion UAE·共同

「がんゲノミクスデータサイエンス医療の社会実装に向けた基盤整備プロジェクト」発足について
～東京理科大学と国立がん研究センターとの連携の取り組み～

東京理科大学は、「がんゲノミクスデータサイエンス医療の社会実装に向けた基盤形成プロジェクト(研究代表者：薬学部生命創薬科学科　秋本和憲　教授)」を特別推進研究と位置づけ、6月からプロジェクトを開始しました。

本プロジェクトは従来から進めていた国立研究開発法人国立がん研究センター(以下、「国立がん研究センター」)との連携を、がん領域でのデータサイエンス医療に向けてより具体的な取り組みに深化させるものです。

プロジェクト概要

本プロジェクトには、理学部、理工学部、工学部、薬学部においてデータサイエンスを専門とする研究者が参画します。国立がん研究センターとの連携のもと、遺伝子変異情報、遺伝子発現パターンや様々なオミクスデータ、あるいは、患者の属性情報や副作用情報等の医療ビッグデータに対し、統計学、情報工学など、様々な領域の最新の手法を駆使して高度な解析や患者の層別化を行うことによって、有意義なデータを引き出して新たな治療薬や治療法の開発を実現する「データサイエンス医療」の基盤整備を進めます。

さらに、がんの各段階におけるピンポイントの予防や治療に向けて、個々人のがん進行予想数理モデルの樹立を目指します。これらのがんゲノミクスデータサイエンス医療の基盤整備を行い、社会実装することで、データサイエンスを基盤としたがんの精密医療を実現し、予防、健康寿命の延伸とがん患者の高いQOLや社会復帰の実現を目標としています。

将来的にはがん以外の疾患領域に対する「データサイエンス医療」への展開も視野に進める計画です。

※当該プロジェクトメンバーを中心に、東京理科大学総合研究院に「データサイエンス医療」を旗印とした研究部門を設置する計画です。

国立がん研究センターとの連携

本プロジェクトの推進に当たり、2021年7月1日付にて国立がん研究センター先端医療開発センター共通部門に設置された「共通研究開発分野」に、東京理科大学から、薬学·生命医科学、理学·工学など分野横断的な研究者が参画します。東京理科大学の最新のデータサイエンスの技術を活用しながら、国立がん研究センターの研究者とともに融合研究分野を組織することで、革新的ながんの治療·診断·予防に関する研究の加速を目指します。今後さらなる人材交流を行い、社会に研究成果を還元します。

背景

東京理科大学と国立がん研究センターは、我が国の学術及び産業の発展と人材の育成に寄与することを目的とし、連携·協力に関する包括連携協定を2017年7月25日に締結しています。これまで、包括連携協定のもと、合同シンポジウム開催、超人医療プロジェクトなどの共同研究、クロスアポイント制度による人材交流など、社会にその成果を還元すべく、さまざまな取り組みを進めてまいりました。

(株)ブライダルは東京理科大学同窓会の皆様の「結婚」を応援します。
43年の実績
(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも「結婚」という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に東京理科大同窓会の皆様には平成16年より「東京理科大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「同窓会誌」を見たとおっしゃってくだされば、会員の皆様は登録料100%OFF　にてご入会いただけます。
東京理科大コース
登録料 33,000円(税込)
100%OFF
ホームページ http://www.bridal-vip.co.jp
株式会社 ブライダル
0120-415-412
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
名古屋本社 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F

「QS Graduate Employability Rankings 2022」で本学が国内10位

9月23日に英国の※QS社から発表された「QS Graduate Employability Rankings2022」において、本学は世界で151-160位、国内で10位(私立大学では3位)となりました。

当ランキングは、大学のエンプロイヤビリティ(雇用される能力、労働市場における実践的な就業能力)の観点から世界トップクラスの大学の実力を明らかにするためにQS社が発表しているもので、雇用者による評価、卒業生の活躍、主要企業との共同研究実績、企業などの学内採用活動、卒業生雇用率等の項目を評価指標としています。

本学については例年どおり、大学と企業が連携した取り組みや卒業生の活躍が評価されており、特に「Graduate Employment Rate(卒業生雇用率)」では、日本最高のスコアを獲得しました。

国内大学の順位　「*」は私立大学

世界順位	国内順位	大学名
25	1	東京大学
37	2	*早稲田大学
52	3	京都大学
56	4	*慶應義塾大学
67	5	東京工業大学
76	6	大阪大学
92	7	名古屋大学
131-140	8	北海道大学、九州大学
151-160	10	一橋大学、*東京理科大学

「Graduate Employment Rate」のスコアにのみ注目した場合、世界トップ50に入っている日本の大学は本学だけです。これは、本学の教育の成果と卒業生の活躍が社会から高く評価された結果と言えるでしょう。これからも本学は、建学の精神に基づく教育を実践し、有為な人材を社会に輩出してまいります。

※QS社:世界中の大学を評価し、様々な種類の大学ランキングを発表している英国の高等教育専門調査会社

THE世界大学ランキング2022の「研究力」で国内私学3位の評価

2021年9月2日に、英国Times Higher Education社(以下THE)の世界大学ランキングが発表されました。このランキングは世界の大学を教育力、研究力等の複合的な評価によりランク付けしており、本学は、「研究力」の指標で、日本の私立大学3位(国内大学で14位)の評価を得ました。この指標は、各国の研究者に対する評判調査、研究関連収入、学術生産性から算出されており、本学の強みである研究力が、高い評価を受けたものです。

世界大学ランキングには様々なものがありますが、いずれのランキングにおいても本学の研究力は世界から高い評価を受けています。

THEとともに世界で最も注目される英国Quacquarelli Symonds社(以下QS)のランキングでは、本学は研究力を評価する「教員一人あたりの論文被引用数」の指標で、日本の私立大学1位(国内大学では15位)となりました。

また、中国のShanghai Ranking Consultancyによる「世界大学アカデミックランキング(ARWU)」でも、「教員一人あたりの業績」の指標で、日本の私立大学1位(国内大学では11位)となっています。

THE世界大学ランキング 2022 (2021年9月2日発表)	Research(研究力) 私学3位(国内14位)
QS世界大学ランキング 2022 (2021年6月9日発表)	Citations per Faculty (教員一人あたりの論文被引用数) 私学1位(国内15位)
世界大学アカデミックランキング 2021 (2021年8月15日発表)	PCP(教員一人あたりの業績) 私学1位(国内11位)

基礎研究を推し進める東京理科大学の優れた研究所を訪ねて(第7回)

研究推進機構 生命医学研究所(2)【がん生物学部門編】

～いのちの根源を明らかにし健やかで活動的な人々の暮らしを支え生命科学・医学の発展に貢献する～

今回は生命医学研究所のがん生物学部門を訪問し研究科長の北村大介教授と昆俊亮講師にお話を伺った。

【がん生物学部門のミッション】

がん細胞は正常細胞から遺伝子変異により生じ、異常増殖、浸潤・転移能という特性を持ちます。また、がん細胞は周囲の正常細胞や免疫系によって影響を受けます。当部門ではこうした異常細胞と正常細胞からなる細胞社会における、細胞の増殖、分化、遺伝子や代謝の制御の仕組みを解明することを目標としています。

◇北村大介 研究室

北村大介教授

北村はケルン大学に留学中の1991年に日本人として初めて遺伝子標的破壊マウスの作製に成功した。その後、九州大学に戻り、1995年に生命医科学研究所の教授に就任した。当初より一貫して、免疫学、とりわけリンパ球B細胞の分化と免疫応答の研究を行ってきた。B細胞は体内で病原体などの抗原を認識すると、クローンとして増殖し、形質細胞に分化して抗体を産生する。同時に同じクローンから記憶細胞が形成される。例えば、新型コロナウィルスのワクチン接種の後、数ヶ月を経ると抗体価が減少して感染防御効果が減弱するが、感染しても重症化しないのはこの「免疫記憶」がウィルスを排除するおかげである。これまで、抗原に反応したB細胞が形質細胞や記憶細胞に分化するためのシグナルや細胞内メカニズムについて研究してきた。また、アレルギーを引き起こすIgE抗体の産生の制御機構についても研究している。

さらに、近年はIgA腎症の発病機構の研究に注力している。IgA腎症はわが国の慢性糸球体腎炎の約半数を占め、その約40%がいずれ腎不全に陥るという重要な腎疾患である。腎糸球体に選択的にIgA抗体が沈着することが原因であるが、なぜそこにIgAが沈着するのか、また、そのIgAはどうして作られるのかといった根本的な病因が不明である。北村らは順天堂大学腎臓内科と共同で、IgA腎症のモデルマウスを用いてこれらの問題の解明に取り組んでいる。これまでに、このマウスの血液中のIgAや腎臓に蓄積する形質細胞から産生されたIgAが、腎糸球体に存在するある自己抗原を認識して結合することを発見した。また、一部のIgA腎症患者の血中IgAも同じ自己抗原に結合した。つまり、IgA腎症が抗原特異的な自己免疫疾患であることを初めて見出した。この発見をもとに、IgA腎症の予防や治療方法の開発に向けて研究を進めていく。また、この自己抗原をマーカーとしてIgA腎症の早期発見のための診断法も開発する。

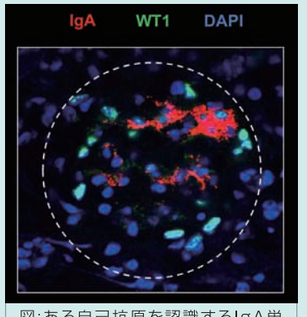
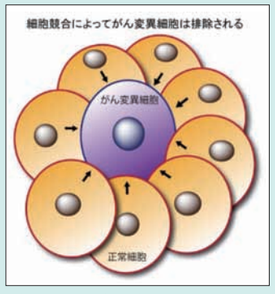


図:ある自己抗原を認識するIgA単クローン抗体を正常マウスに静脈投与すると、2時間後には腎糸球体(点線内)に沈着した(赤)。緑:足細胞

◇昆 俊亮 研究室

昆 俊亮講師

がんは、一つの上皮細胞が何かしらの遺伝子に変異が生じることから始まる。一説には、1日に数千個のがん変異細胞が体内で産生されていると言われており、このようながん予備軍とも言うべき細胞をいかにして早期の段階で排除すべきかが今後大きな課題になっていると考えられる。我々の研究を含めた最近の研究成果より、がん変異細胞が上皮細胞層に偶発的に産生されたとき、この変異細胞と隣接する正常上皮細胞との間で互いに生存を争う細胞競合という生命現象が惹起され、その結果がん変異細胞は上皮層より排除されることが分かってきている。具体的には、がん変異細胞を取り囲む周辺の正常細胞が、変異細胞を管腔側へと押し出すようにして排除する(図)。管腔へと排除された変異細胞は、細胞死し、体外へと排出される運命にあるので、細胞競合とは正常上皮細胞が担っている抗腫瘍機能として近年大変注目を浴びている。私たちの研究室では、この細胞競合を制御する分子論的メカニズムを解明すべく、培養細胞や細胞競合マウスモデルを用いて精力的に細胞競合研究を進めている。また、細胞競合の機能を人為的に変容させると、本来管腔へと排除されるべきがん変異細胞が組織内へと浸潤するようになること、さらには上皮細胞の分化度の違いによって、細胞競合による排除効率が大きく異なることをこれまでの研究成果より明らかになりつつある。これらの現象を説明できる分子基盤の解明にも現在取り組んでいる。将来的には、これらの研究成果を基に、細胞競合現象を応用してがん変異細胞を早期の段階より駆逐するといった、これまでにないような新たな制がん法の確立へと昇華していきたいと思っている。



取材記：がん細胞は周囲の正常細胞や免疫系によって影響を受ける。この仕組みを解明することで、医学や医療系に大きな発展があると確信して、研究所を後にした。

2022 謹賀新年

本年もよろしくお願いいたします

学校法人東京理科大学
理事長
浜本 隆之(工・電92)

東京理科大学
学長
石川 正俊

理窓会 会長
増渕 忠行(理・物68)

理窓会 名誉会長
塚本 桓世(理・応物65)

理窓会 顧問
山田 義幸(理・化54)

理窓博士会 会長
秋山 仁(理・応数69)

東京理科大学維持会 会長
酒井 陽太(工・経工74)

理窓会(東京理科大学同窓会)

会長 **増渕 忠行**(理・物68)

副会長
橋本 巖(理・物69)
山崎 晃弘(理工・建76)
松原 秀成(理・物70)
矢部 博(理・応数77)
近藤 明(工・工化73)
小林 秀至(理工・電79)

常務委員
小島 延吉(理・数70)
杉浦 雅美(理・応化74)
伊藤 稔(理工・数79)
槇 誠司(理工・数83)
樽谷 隆(理・化89)
松田 一朗(理工・電91)
岡本 公爾(工・工化73)
昌子久仁子(薬・製薬77)
大谷三喜男(工・工化79)
上村 直樹(薬・製薬86)
佐竹 信一(理工・機90)
廣瀬 和昭(理・数73)
小茂田昌代(薬・製薬78)
佐野 吉彦(工・建79)
瀬尾 隆(理・応数89)
小林 聡(理・数91)

監査委員
藤井 浩(工・機69)
富岡 康夫(理・化73)

東京理科大学 理学部第一部

学部長 **加藤圭一**

副学部長 **徳永英司**
数学科主任 **太田雅人**
物理学科主任 **松下恭子**
化学科主任 **河合英敏**
応用数学科主任 **柳田昌宏**
応用物理学科主任 **伊藤哲明**
応用化学科主任 **松田学則**

東京理科大学 理学部第二部

学部長 **長嶋泰之**

数学科主任 **小谷佳子**
物理学科主任 **目黒多加志**
化学科主任 **佐竹彰治**

東京理科大学 工学部

学部長 **近藤行成**
副学部長 **池口 徹**

建築学科主任 **髙橋 治**
工業化学科主任 **橋詰峰雄**
電気工学科主任 **植田 譲**
情報工学科主任 **赤倉貴子**
機械工学科主任 **牛島邦晴**

東京理科大学 経営学部・経営学研究科

学部長・研究科長 **岸本一男**
経営学科主任 **朝日弓未**
ビジネスエコノミクス学科・経営学専攻主任 **野田英雄**
国際デザイン経営学科主任 **飯島淳一**
技術経営専攻主任 **若林秀樹**

東京理科大学 理工学部・理工学研究科

学部長・研究科長 **伊藤浩行**
副学部長 **滝本宗宏**
〃 **大宮喜文**

数学科主任 **平場誠示**
物理学科主任 **矢口 宏**
情報科学科主任 **宮本暢子**
応用生物科学科主任 **和田直之**
建築学科主任 **山名善之**
先端化学科主任 **坂井教郎**
電気電子情報工学科主任 **星 伸一**
経営工学科主任 **石垣 綾**
機械工学科主任 **岡田 裕**
土木工学科主任 **寺部慎太郎**
国際火災科学専攻主任 **河野 守**

共に響き合う理工学部へ。
RESONANCE

東京理科大学 先進工学部・先進工学研究科

学部長・研究科長 **田村浩二**
電子システム工学科主任 **増田信之**
マテリアル創成工学科主任 **小嗣真人**
生命システム工学科主任 **西山千春**

東京理科大学 薬学部・薬学研究科

学部長・研究科長 **宮崎 智**
薬学科主任 **羽田紀康**
生命創薬科学科主任 **和田 猛**

東京理科大学 オープンカレッジ

社会人教育センター長
平川 保博

「社会人教育・リカレント教育拠点」として
ビジネス講座・一般教養講座を
多数開講しています。

〒102-0072
東京都千代田区飯田橋4-10-1
セントラルプラザ2階
TEL 03-5227-6268(平日9:00~17:00)
FAX 03-5227-6263
URL https://web.my-class.jp/manabi-tus/

理窓会 秋田支部

支部会員一同

理窓会 北海道支部

支部会員一同

理窓会 茨城支部

支部長 **山極時生**(理工・電71)
代議員 **小関日出男**(理・応数74)
副支部長 県南 **菊地和之**(理工・数76)
〃 県西 **谷田部佳見**(理工・工化77)
〃 県北 **三村 靖**(理工・電82)
〃 水戸 **飯島義光**(理工・機04)
〃 HP **森尾修一**(理・応物70)
〃 会計 **西村隆浩**(理工・物99)

理窓会 青森支部

支部長 **阿保民博**(理工・物73)
代議員 **藤原広洋**(理工・工化71)
事務局長 **村本 卓**(理工・電83)

理窓会 岩手支部

支部会員一同

理窓会 東京支部

支部長 **植木キク子**(理・物61)
副支部長 **島崎 益男**(工・機70)
〃 **廣瀬 和昭**(理・数73)
〃 **半谷精一郎**(工・電75)
〃 **増田 律子**(理工・数77)
〃 **稲垣 雅子**(工・建79)
〃 **梅原たまき**(理・応数89)
相談役 **松原 秀成**(理・物70)

理窓会 埼玉支部

支部長 **小林美喜夫**(理・化71)
副支部長 **齊藤 進**(理・物69)
〃 **小嶋 延吉**(理・数70)
〃 **中埜 正一**(理工・電71)
〃 **本多 昇**(理工・工化77)
〃 **米澤 正晴**(工・工化78)
〃 **足立 哲也**(理・数79)
〃 **松本 明**(理・数82)
〃 **今西 善徳**(理・数84)
〃 **諏訪部充弘**(経・経00)

理窓会 千葉支部

支部長 **杉浦雅美**(理・応化74)
副支部長 **田村清志**(理工・数79)
〃 **鈴木隆文**(理・数79)
〃 **阿部隆之**(理・応物80)
〃 **大嶋良太**(理工・建83)
〃 **根本 巖**(理・化86)
相談役 **眞田孝則**(理・化75)
顧問 **鯉淵武敏**(理・化52)
〃 **水野 澄**(理・数65)
〃 **小倉正敬**(理・物69)

理窓会 信州支部

支部長 **飯田洋市**(理・数89)
副支部長(筆頭) **谷 憲昭**(薬・薬65)
〃 (中信) **浜野修一郎**(薬・薬77)
〃 (東信) **大田一昭**(理工・数80)
〃 (南信) **高野嘉寿彦**(理・数86)
〃 (教育関係) **宮澤伸明**(理工・数86)
〃 (北信) **氷鉋麻紀**(諏訪・経情08)
〃 (女性活躍) **下条千史**(諏訪・経情19)
監事 **大池義高**(理・数66)
〃 **大島政英**(理工・電気89)

理窓会 神奈川支部

支部長 **平田治夫**(理・数77)
副支部長 **戸上惠央**(理・数68)
〃 **樽谷 隆**(理・化89)
〃 **小泉隆志**(理・数82)

理窓会 福井支部

支部長 **山下秀雄**(理・物72)
代議員 **末本 守**(理工・物76)
事務局 **荒井広臣**(理・応数85)
HP **小林明男**(理・化75)
会計 **古市恭也**(理工・建修95)

理窓会 栃木支部

支部会員一同

理窓会 山形支部

支部長 **五十嵐慶三**(理工・工化77)
代議員 **玉橋 博幸**(理・化77)
副支部長・幹事・監事・会員一同

理窓会 静岡支部

支部長 **海野俊彦**(理・化80)
代議員 **大野幸人**(理・化73)
東部会長 **杉山邦宏**(理・数76)
中部会長 **永田和久**(工・電工85)
遠州会長 **久保 修**(理工・機79)

理窓会 群馬支部

理窓会 新潟支部

支部長 **上杉 肇**

理窓会 滋賀支部

支部長 **横山成紀**(理・応物67)
代議員 **山田脩治**(工・建71)

理窓会 京都支部

支部長 **藤森廣幸**(薬・製薬72)
副支部長 **稲見國男**(理・応化70)
副支部長 **谷岡秀幸**(理工・数75)
代議員 **小西敏治**(工・経71)

理窓会 大阪支部

支部長 **秋山茂夫**(理・応物72)
代議員 **萩野隆司**(理工・建82)
支部幹事
今泉 浩(理・数65) **木村宗光**(工・建66)
中江康男(工・電70) **駒井幹彦**(工・電70)
安部清行(理・応物72) **蒔田司郎**(理・数79)

理窓会 岡山支部

顧問 **赤木 寛**(理・物57)
顧問 **川上洋一**(理・数65)
支部長 **三浦康男**(理工・数71)
副支部長 **清水 男**(理工・工化75)

理窓会 富山支部

支部長 **滝本恒平**(理・数66)
代議員 **高田正保**(理・応物70)
幹事長 **中島範行**(薬・製薬84)
会計 **池松耕二**(理工・電77)

理窓会 山梨支部

支部長 **奥村 一利**(工・建78)
代議員 **橘田多喜夫**(理・物78)
事務局長 **窪田 敏章**(理・化84)

理窓会 岐阜支部

支部長 **松田正英**

理窓会 愛知支部

支部長 **二村菊久**
代議員 **天野 卓**

卒年は西暦

2022 謹賀新年

本年もよろしくお願いいたします

理窓会 三重支部
支部長　立松忠博

理窓会 奈良支部
顧　問　阿部治男(理・応物65)
支部長　森西耕一郎(理・物68)
代議員　駒井　彰(理・応数86)

理窓会 和歌山支部
支部長　佐藤 寛司(理・応化05)
評議員　岡本 公爾(工・工化73)
代議員　久保田哲造(理工・建79)
事務局長　貴志 真士(理工・物01)

理窓会 鳥取支部
支部長　齋尾宏伸(理・数76)
事務局　大森教雄(理・応化93)

理窓会 兵庫支部
支部長　宮宅勇二(理工・建76)
代議員　上杉秀樹(理・数86)

理窓会 広島支部
支部会員一同
支部長　前眞一郎(理・数77)
事務局　和泉知示(理工・電気81)

理窓会 山口支部
支部長　福永健一
副支部長　平川芳孝
幹　事　深井保司
〃　梶井浩志

理窓会 香川支部
支部長　上野準一(工・経73)
代議員　合田一洋(理工・土木99)

理窓会 高知支部
支部長　和田雅史(理工・建81)
代議員　刈谷　聡(理工・電82)

理窓会 長崎支部
支部長　井手義道(理・物63)

理窓会 大分支部
支部長　開　憲明(理・数65)
代議員　松崎忠央(薬・製薬75)

理窓会 宮崎支部
支部長　坂元一貴(薬・薬81)

理窓会 沖縄支部
支部長　岩切喜一郎(理・化75)
代議員　比嘉敏明(理・化83)
事務局長　名嘉正光(理・化85)

東京理科大学 同窓経営者会
会長　田中達也(理工・経80)　副会長　古矢元一(理工・応生82)

東京理科大学I部柔道部OB会
鵠志会
会　長　柳川昌徳(理工・建74)
副会長　久保正典(理・数78)
副会長　牧野徹也(工・機79)
会計監査　田巻洋一郎(工・建76)
創部70&創会60記念事業実行委員長
望月哲夫(理・物71)

東京理科大学I部体育局柔道部
神楽坂顧問　佐々木健夫(理・化学科教授)
野田顧問　明石重男(理工・情報科学科教授)
師　範　金子邦男(理科大学元職員)
総監督　涌井利秋(理工・建75)
監　督　藤巻敏光(理工・物81)

理窓スマッシュ会
(II部ソフトテニス部OB会)
会長　常見達弘(理・化2・91)

理窓技術士会
会長　山極時生(理工・電71)
会員一同

東京理科大学
薬学部同窓会
会　長　上村直樹(86)
副会長　武田直子(79)
副会長　田畑　新(79)
副会長　磯部総一郎(85)
副会長　伊集院一成(88)
副会長　真野泰成(97)

からくり会
年代等の垣根を超えた情報交流会
「あゆの会」「理翔会」を経て
平成18年に結成しました。
毎月第一木曜日、年10回以上の
例会(トークライブ)を開催予定。
詳細は下記HPをご覧ください。
http://risoukai.com/karakuri/

関西理窓会連合会
会　長　岡本公爾(工・工化73)
副会長　秋山茂夫(理・応物72)
顧　問　柴田眞一(理・化60)
顧　問　関川正文(理・化60)

理窓ビジネス同友会
会　長　山本幸央(理工・経77)
副会長　森野義男(理・化78)
浅子弘美(理・応数82)
樽谷　隆(理・化89)
坂本哲志(理工・情95)
追矢修司(経・経97)
理　事　福田義克(工・建68)　岡本公爾(工・工化73)　岡本麻代(理・化95)
秋山　仁(理・応数69)　酒井陽太(工・経74)　岡本香里(理工・経工96)
島崎益男(工・機70)　米澤正晴(工・工化78)　尾崎健介(工・経01)
大久保理(理・応物72)　望月克巳(理工・応生83)　片寄裕市(経・経01)
宮川公治(工・経73)　露木　聡(理工・電87)　増田庸司(経・経01)
三浦善司(工・経73)　滝澤直樹(理工・経94)
理事兼事務局　菅原寛子(MOT2018)
監　査　石田正夫(理工・経72)　安田裕昭(理工・経80)
事務局　〒162-0825　新宿区神楽坂2-6-1　PORTA神楽坂内 (https://kigyou.risou.net/)

理窓亀の子会
小池茂年(理・物64)
松野　直(理・物66)
加納　誠(理・物69)
西尾太一郎(理・物96)

東京理科大学
数学教育研究会
名誉会長　池田文男(理・数73)
会　長　伊藤　稔(理工・数79)
副会長　増田律子(理工・数77)
副会長　下条隆史(理・数78)
副会長　槇　誠司(理工・数81)
副会長　今井寛人(理・数75)
副会長　眞田克典(理・数81)
事務局長　清水克彦(理学部教授)

東京理科大学 理窓教育会
会長　富岡 康夫(理・化73)

参与　磯脇 一男(理・数64)
理事　小野 具彦(理・化67)　松原 秀成(理・物70)　廣瀬 和昭(理・数73)　田中　均(理・数76)　吉川 知己(理・化81)
酒匂 昭男(理・化55)　會田 良三(理・化68)　齋藤 常男(理・物71)　菅井　悟(理・物73)　並木　正(理・物80)　中村 信雄(理工・応生80)
伊藤　操(理・物61)　小久保正己(理・数69)　榎本 成己(理・応物71)　小岩 利夫(理・物75)　小林　博(理工・機77)　松本　明(理・数82)
坂本　功(理・数66)　澁谷 重雄(理・数69)　長谷川純一(理・物73)　高橋 伯也(理・数74)　竹村 精治(理・応数76)　臼田三知永(理・数82)

明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願いします

東京理科大学 こうよう会(父母会)
会長　朝鳥　章

理窓会 高砂熱学支部
支部長 柴田 克彦

理窓ヨット倶楽部
会長　大熊清二(工・建72)

謹賀新年

東京理科大学ホールディングス株式会社
代表取締役社長 尾垣文雄

東京理科大学
インベストメント・マネジメント株式会社
代表取締役社長 片寄裕市

東京理科大学アカデミックパートナーズ株式会社
代表取締役社長 長田耕一

株式会社TUSダイニング
代表取締役社長 能元勇治

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1丁目3番地
TEL 03(5225)2080

鹿島理窓会
(鹿島建設株式会社東京建築支店)

ワンダーフォーゲル部 OB会

築 理 会
会長　佐野吉彦(工・建79)

竹中工務店
(竹中理窓会)

アズビル理窓会
代表 渡邊賢佳(理・応物82)

結成23年目
理窓美術同好会

囲碁と憩いの場
理窓棋院
会長 今泉 精一(工・建68)
事務局 shimizu-keiji@55.netyou.jp

東京理科大学 バスケットボール部 OB・OG会

東京理科大学 混声合唱団OB会
会長　濱埜克巳

I部体育局ハンドボール部OB会
理窓会関連団体
神楽坂会
会長　猪村彰(工・建75)

I部体育局硬式庭球部OB・OG会
理 庭 会
会長　十時康行(理・物60)

長谷工グループ
長谷工理窓会

野田建築会
(理工学部建築学科同窓会)
会長 粟飯原 功一(理工・建85)

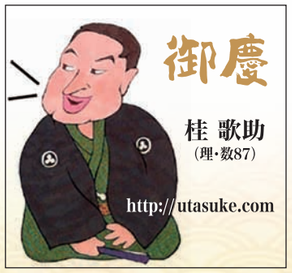
理窓教育会OB会
北斗の会
代表 磯脇 一男(理・数64)

I部体育局スキー部OB会
会長　岡本公爾(工・工化73)

東京理科大学 少林寺拳法部OB会
幹事長 高木俊知(理工・電70)

理窓山岳会
東京理科大学I部山岳部

行政書士理窓会
代　表　今村彰啓(工・工化80)
副代表　亀谷俊一(理・化81)
会計監査　橋本敏浩(理・化90)



卒年は西暦

Information 理窓会・支部・関連団体・諸会・卒業生・大学・在学生

2021HCD お楽しみ抽選会のお知らせ

2022年1月31日(月)まで受付中!

東京理科大学 TUS 第15・16回
ホームカミングデー 2021

お楽しみ抽選会

ONLINE
応募については
「理窓会ホームページ」
https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/
の応募コーナーを
ご覧ください

総勢500名様に、北海道長万部町の美味しい特産品、ギフト券、大学公式グッズなどの豪華景品が当たる!

北海道長万部町特産品

毛ガニ小サイズ2杯/ ホッキ貝/ いくら醤油漬/ 帆立貝柱詰合せ/ まるごと長万部セット/ 豪華海鮮しゅうまい/ ジンギスカンセット/ エンリッチミニトマト/ はっぴーディアーズ菓子詰合せ

各種ギフト券

有名デパート選べるギフト/ ビール券(大瓶1ダース)/ おもちゃ(トイザらス)ギフト券/ 花束ギフト(メルシーフラワー)/ JCB、DC、VISA等商品券/ 図書券

理科大グッズ

下記のグッズを組合わせて20名様にプレゼントします。

若狭塗箸/ マフラータオル/ ミニトートバッグ/ キャンバスバッグ/ 今治産ハンカチタオル/ オリジナルTシャツ/ PCバッグ/ マグカップ/ 上島珈琲タンブラー/ 軽量傘/ クルトガアドバンス、フリクションボールペン、ツバメノート、マスキングテープ等の文房具

応募資格・応募期間・抽選方法および注意事項

1.応募資格
本学の「卒業生(修了生)」(非正課生(科目等履修生等)を除く)であること。

2.応募期間
2021年**10月31日**(日)から2022年**1月31日**(月)まで

3.抽選方法
抽選は、2022年1月上旬と2月上旬の2回に分けて行い、景品については当選者に順次発送します。なお、景品の指定はできません。

4.注意事項
・応募はお1人につき1回とさせていただきます。
(お1人で複数回の応募は無効とさせていただきます)
・当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
・応募上ご記入いただいた内容は、当選者へのプレゼントの発送に使用させていただくとともに、東京理科大学の卒業生情報として反映し、東京理科大学からの行事等のご案内、卒業生会報誌『理窓』の発送のために使用させていただきます。

2021HCD 特設サイト(YouTube) 10月31日(日)2021HCD特設サイトに接続するURLです。
2022年10月まで視聴できます。https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/homecoming/

2022年度 理窓会本部主要行事予定		
2022年度理窓会支部長会	2022年6/26(日)	神楽坂キャンパス(予定)
2022年度理窓会代議員総会		
第17回東京理科大学 ホームカミングデー	2022年10/30(日)	
第13回坊っちゃん科学賞 研究論文コンテスト	2022年10/30(日)(予定)	
第114回新年茶話会	2023年1/7(土)	ホテルメトロポリタンエドモンド(予定)

2021年度1月から3月で開催予定の支部総会		
埼玉支部新年会	1/22(土)	東天紅(大宮市)
神奈川支部新年賀詞交歓会	1/22(土)	横浜ローズホテル
東京支部新年会	1/30(日)	森戸記念館
広島支部総会	2/20(日)	ホテルセンチュリー21広島

発行者　東京理科大学校友会《理窓会》
会長　増渕忠行(理・物1968)
編集委員会　委員長／近藤明(工・工化1973)
委　員／齋藤常男(理・物1971)、前田光男(理・化1981)、伊藤 稔(理工・数1979)

理窓会事務局　E-mail:risoukai@alumni.tus.ac.jp　ホームページ:https://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp　fb:https://facebook.com/risoukai.tus
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂6階　Tel:03-3260-0725　Fax:03-3260-4257

表紙写真　近藤明(工・工化1973)